

平成30年度 第2回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会

日時:2019年2月22日(金)15:00～

場所:静岡国道事務所 2階大会議室

議 事 次 第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

- (1) これまでの取り組み経緯
- (2) 今年度実施の主な取り組み
- (3) 来年度の主な取り組み予定
- (4) 県全体の交通状況・トピック等

4. 閉 会

<配布資料>

- ・資料:平成30年度第2回静岡県道路交通渋滞対策推進協議会
- ・資料:参考資料

平成30年度 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会名簿

	所 属	役 職	氏 名	備 考
◎	中部地方整備局	静岡国道事務所長	隅藏 雄一郎	
	〃	建政部 都市整備課長	森山 幸司	
	〃	道路部 道路計画課長	大谷 江二	(代理)課長補佐 長谷川 裕修
	〃	道路部 地域道路課長	廣瀬 昌俊	
	〃	道路部 交通対策課長	石垣 政彦	(代理)交通対策係長 丸山 保昭
	〃	沼津河川国道事務所長	藤井 和久	(代理)計画課長 大西 宵平
	〃	浜松河川国道事務所長	田中 里佳	(代理)副所長 平井 親一
	中部運輸局	交通政策部 計画調整官	田中 範明	(欠席)
	〃	静岡運輸支局長	古橋 由忠	(代理)首席運輸企画専門官 久保田 素広
	静岡県	交通基盤部 道路局 道路企画課長	曾根 裕介	(随行)主査 白井 幸雄
	〃	交通基盤部 道路局 道路整備課長	青木 直己	
	〃	交通基盤部 道路局 道路保全課長	松井 三千夫	
	〃	交通基盤部 都市局 都市計画課長	鈴木 雅則	(代理)主査 大井戸 志朗
	〃	交通基盤部 都市局 地域交通課長	大倉 篤	(代理)主査 永田 伸也
	〃	交通基盤部 都市局 街路整備課長	勝又 泰宏	(代理)主査 藤島 政記
	静岡市	建設局 道路部長	糟屋 倫生	(随行)道路計画課 参事兼課長補佐 桑山 則之
	〃	都市局 都市計画部 交通政策担当部長	梶山 知	
	浜松市	土木部長	柴山 智和	(代理)参事 菅谷 昌彦
	〃	都市整備部長	岡本 光一	
	静岡県警本部	交通部 参事官兼交通企画課長	小川 敏行	(欠席)
	〃	交通部 交通規制課長	鈴木 宏哉	(代理)課長補佐 杉山 喜宏
	中日本高速道路(株)東京支社	総務企画部 企画調整チーム リーダー	伊原 泰之	
	〃	保全・サービス事業部 交通技術チーム リーダー	山本 隆	(欠席)
	〃	保全・サービス事業部 交通管制チーム リーダー	相良 健次	(欠席)
	静岡県道路公社	常務理事	野知 泰裕	(代理)道路部 企画業務課 課長代理 鈴木 正一
	静岡県トラック協会	専務理事	窪田 智樹	
	静岡県バス協会	専務理事	平野 洋一	(代理)事務局長 青島 優
	静岡県タクシー協会	専務理事	八木 孝雄	(代理)事務局長 村上 雅則
事務局				
	中部地方整備局 静岡国道事務所 計画課			
	中部運輸局 静岡運輸支局			
	静岡県 交通基盤部 道路局 道路企画課			
	静岡県警本部 交通部 交通規制課			
	静岡市 建設局 道路部 道路計画課			
	浜松市 土木部 道路課			

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会規約

第1条（名称）

本協議会は「静岡県道路交通渋滞対策推進協議会」（以下協議会という）と称する。

第2条（目的）

静岡県内における道路交通の渋滞解消を図るため、道路管理者、公安委員会、運輸局、及び都市計画部局など関係機関の間で意見交換、調整を図り、円滑な道路交通を確保するとともに、健全な都市形成に資することを目的とする。

第3条（組織）

協議会は本目的に関係する団体等で構成する。

第4条（協議会）

1. 協議会は委員の要請により会長が招集する。
会長は国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所長とする。
2. 委員は、別表1に定めるとおりとする。但し、必要に応じ関係者の出席を求めることができるものとする。

第5条（協議会の運営・進行）

協議会の運営・進行は、会長がこれにあたることとする。

第6条（検討部会）

1. 第2条に規定する事項について、静岡県の西部、中部、東部伊豆地域ごとに事前調査及び調整を行うため、協議会に各地域の検討部会を置く。
2. 検討部会の部会長は関係地域の国土交通省直轄国道事務所の副所長（技）とする。
3. 検討部会は協議会を組織している関係団体等のなかから部会長が指名する職員で組織する。但し、必要に応じ関係者の出席を求めることができるものとする。
4. 第4条及び第5条の規定は検討部会の会議に準用する。この場合において、同条中「協議会」とあるのは「検討部会」、会長とあるのは「部会長」と読み替えるものとする。

第7条（事務局）

協議会の事務局は国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所計画課、中部運輸局静岡運輸支局、静岡県交通基盤部道路局道路企画課、静岡県警察本部交通部交通規制課、静岡市建設局道路部道路計画課、及び浜松市土木部道路企画課に置く。

また、検討部会の事務局は部会長が所属する国土交通省直轄国道事務所の調査担当課に置く。

第8条（その他）

本規約に規定されていない事項については協議会に諮り決定することとする。

<附 則>

1. この規約は平成2年12月14日から施行する。
2. この規約改正は平成5年6月14日から施行する。
3. 静岡県道路交通円滑化連絡協議会（平成2年12月14日発足）は廃止する（平成5年6月14日付）
4. この規約改正は平成5年8月30日から施行する。
5. この規約改正は平成6年9月21日から施行する。
6. この規約改正は平成9年3月19日から施行する。
7. この規約改正は平成9年10月30日から施行する。
8. この規約改正は平成17年10月31日から施行する。
9. この規約改正は平成20年1月15日から施行する。
10. この規約改正は平成24年6月27日から施行する。
11. この規約改正は平成25年6月28日から施行する。
12. この規約改正は平成27年3月23日から施行する。
13. この規約改正は平成27年9月29日から施行する。
14. この規約改正は平成28年7月25日から施行する。

平成30年度 第2回 静岡県道路交通渋滞対策推進協議会

場所：静岡国道事務所 2階 大会議室

[目次]

1. これまでの取り組み経緯
2. 今年度実施の主な取り組み
3. 来年度の主な取り組み予定
4. 県全体の交通状況・トピック等

平成31年2月22日（金）

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 事務局

1. これまでの取り組み経緯

1. これまでの取り組み経緯

□ 2015年度以降の取組経緯

年度	検討部会・協議会	議事概要
2015年度	【各エリアでの検討部会】	<ul style="list-style-type: none"> ● 2014年度に実施した対策、2015年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換
	【渋滞対策推進協議会】 2015.9.29（火）	<ul style="list-style-type: none"> ● 2014年度に実施した対策、2015年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換 <p><u>(⇒寺尾交差点を削除)</u></p>
	【各エリアでの検討部会】	<ul style="list-style-type: none"> ● 2015年度に実施した対策の速報値による整備効果報告、2016年度に実施する対策に関する意見交換
2016年度	【各エリアでの検討部会】	<ul style="list-style-type: none"> ● 「エリアの渋滞対策の基本方針」に関する意見交換 ● 2015年度に実施した対策、2016年度に実施する対策に関する意見交換（2016年度は通常期の渋滞対策に加え、「休日の渋滞対策」を検討） ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換
	【渋滞対策推進協議会】 2016.7.25（月）	<ul style="list-style-type: none"> ● 「エリアの渋滞対策の基本方針」に関する意見交換 ● 2015年度に実施した対策、2016年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換 <p><u>(⇒久能IC、国本IC、瀬名IC、安西橋西交差点、西島交差点、二之宮交差点を削除)</u></p>
	【各エリアでの検討部会】	<ul style="list-style-type: none"> ● 2016年度に実施した対策の速報値による整備効果報告、2017年度に実施する対策に関する意見交換
2017年度	【各エリアでの検討部会】	<ul style="list-style-type: none"> ● 2016年度に実施した対策、2017年度に実施する対策に関する意見交換（2016年度は通常期の渋滞対策に加え、「休日の渋滞対策」を実施） ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換
	【渋滞対策推進協議会】 2017.7.28（金）	<ul style="list-style-type: none"> ● 2016年度に実施した対策、2017年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換 <p><u>(⇒大幡川橋交差点、中之郷入口交差点、浜名バイパス(大倉戸IC付近)を削除)</u></p>
	【各エリアでの検討部会】	<ul style="list-style-type: none"> ● 2017年度に実施した対策の速報値による整備効果報告、2018年度に実施する対策に関する意見交換
2018年度	【各エリアでの検討部会】	<ul style="list-style-type: none"> ● 2017年度に実施した対策、2018年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、削除候補箇所に関する意見交換
	【第1回渋滞対策推進協議会】 2018.7.27（金）	<ul style="list-style-type: none"> ● 2017年度に実施した対策、2018年度に実施する対策に関する意見交換 ● 交通状況のモニタリング結果報告、静岡県の交通トピック
	【各エリアでの検討部会】	<ul style="list-style-type: none"> ● 2018年度に実施した対策の速報値による整備効果報告、2019年度に実施する対策に関する意見交換
	【第2回渋滞対策推進協議会】 2019.2.22（金）	<ul style="list-style-type: none"> ● 2018年度に実施した対策の速報値による整備効果報告、2019年度に実施する対策に関する意見交換 ● 静岡県の交通トピック

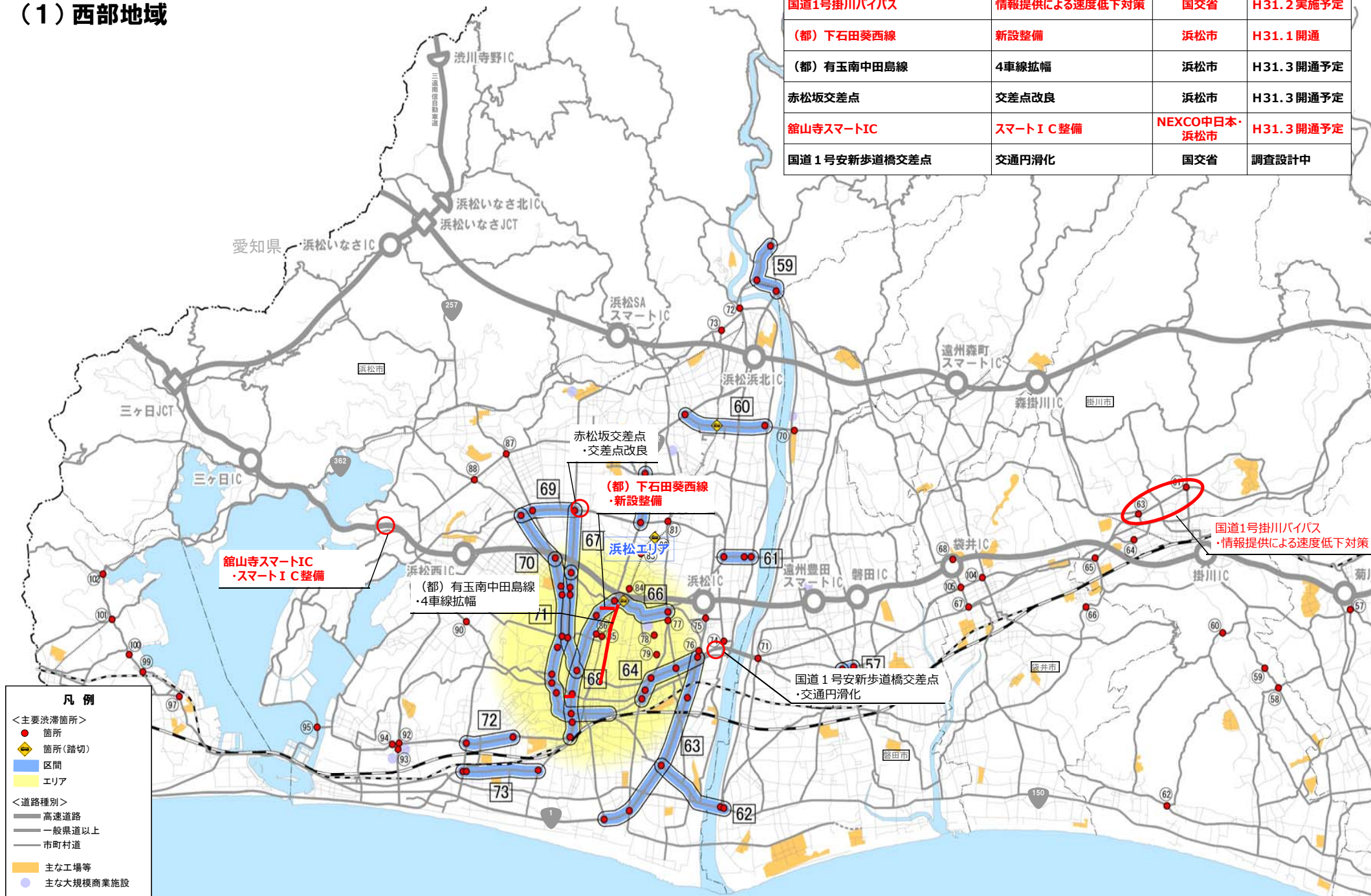
2. 今年度実施の主な取り組み

2. 今年度実施の主な取り組み

2-1 平成30年度に実施(完了)・検討した対策

(1) 西部地域

箇所	実施施策	実施主体	検討状況
国道1号掛川バイパス	情報提供による速度低下対策	国土省	H31.2 実施予定
(都) 下石田葵西線	新設整備	浜松市	H31.1 開通
(都) 有玉南中田島線	4車線拡幅	浜松市	H31.3 開通予定
赤松坂交差点	交差点改良	浜松市	H31.3 開通予定
館山寺スマートIC	スマートIC整備	NEXCO中日本・浜松市	H31.3 開通予定
国道1号安新歩道橋交差点	交通円滑化	国土省	調査設計中



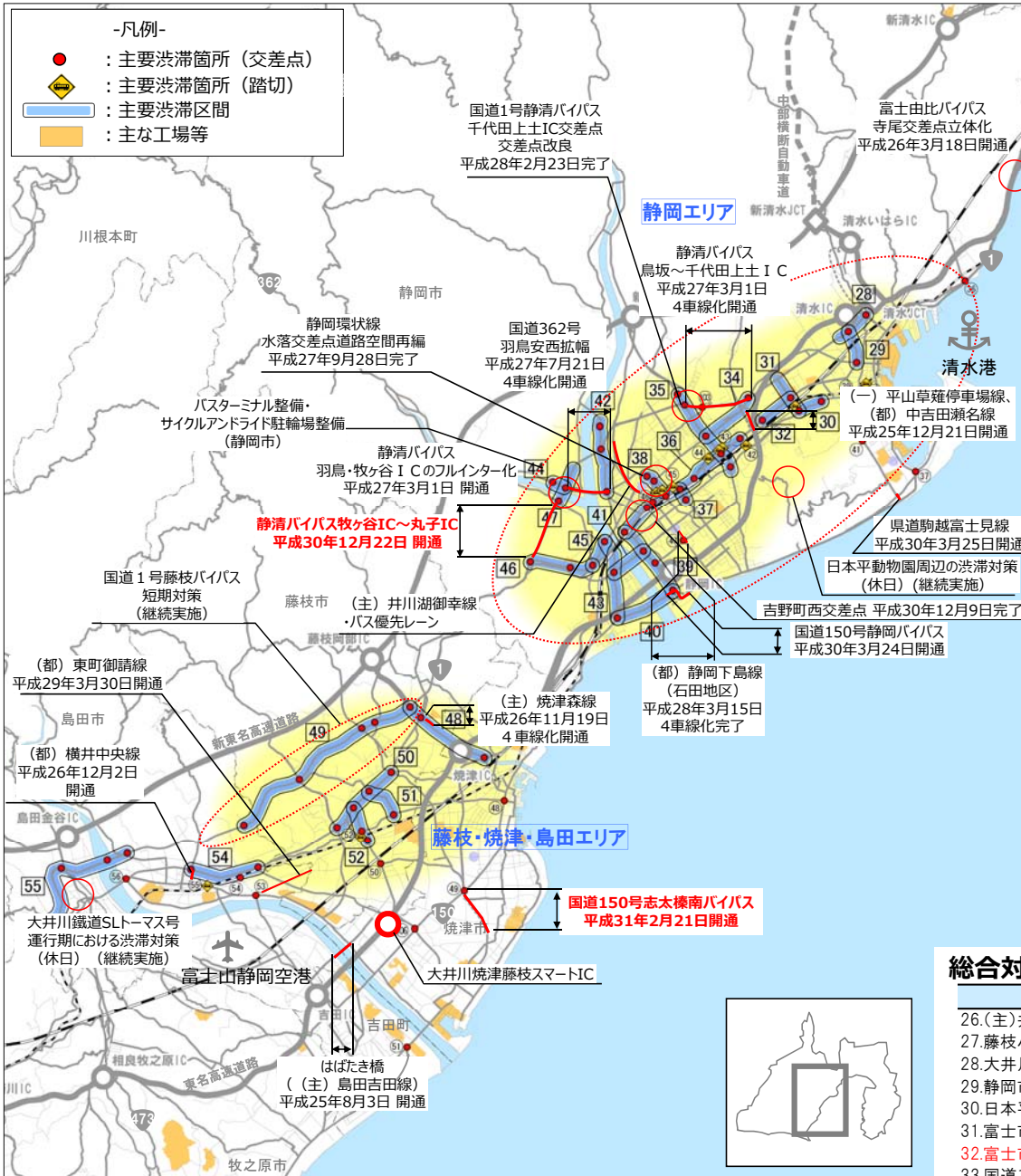
2. 今年度実施の主な取り組み

2-1 平成30年度に実施(完了)・検討した対策

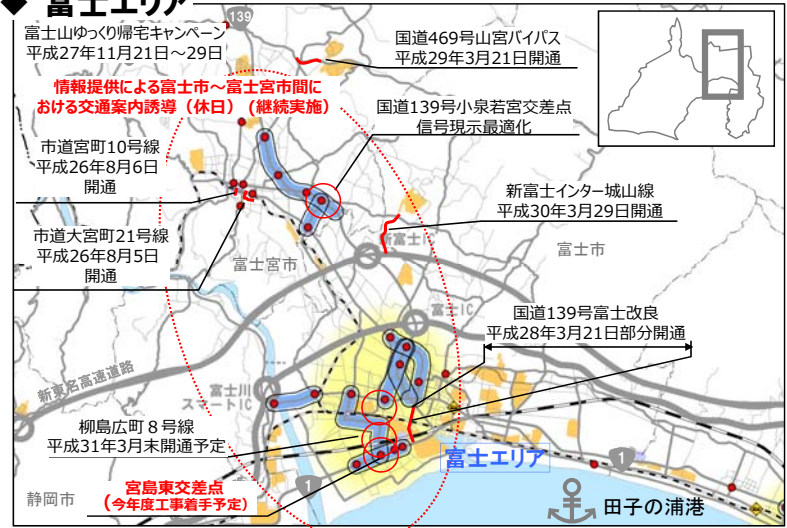
※2013年以降実施した対策も記載

(2) 中部地域

◆ 静岡エリア、藤枝・焼津・島田エリア



◆ 富士エリア



道路整備等

箇所	実施施策	検討状況	実施主体
1. はばたき橋((主)島田吉田線)	新設整備	平成25年 8月3日開通	静岡県
2. (一)平山草薙停車場線、(都)中吉田瀬名線	新設整備	12月21日開通	静岡市
3. 富士由比バイパス寺尾交差点立体化	交差点立体化	平成26年 3月18日開通	国
4. 市道大宮町21号線	新設整備	8月5日開通	富士宮市
5. 市道宮町10号線	新設整備	8月6日開通	富士宮市
6. (主)焼津森線一部4車線化	4車線拡幅	11月19日開通	静岡県
7. (都)横井中央線	新設整備	12月2日開通	島田市
8. 静清バイパス羽島・牧ヶ谷ICのフルインター化	フルIC化	平成27年 3月1日開通	国
9. 静清バイパス鳥坂～千代田上土IC4車線化	4車線拡幅	3月1日開通	国
10. 国道362号 羽島安西拡幅4車線化	4車線拡幅	7月21日開通	静岡県
11. (一)静岡環状線 道路空間再編	交差点改良	9月28日開通	静岡市
12. (都)静岡下島線(石田地区) 4車線化	4車線拡幅	平成28年 3月15日開通	静岡市
13. 静清バイパス千代田上土IC交差点改良	交差点改良	2月23日開通	国
14. 大井川焼津藤枝スマートIC	スマートIC整備	3月12日開通	NEXCO中日本、焼津市、藤枝市
15. 国道139号富士改良(部分開通)	新設整備	平成29年 3月21日開通	国
16. 国道469号山宮バイパス	新設整備	3月21日開通	静岡県
17. (都)東町御請線	新設整備	3月30日開通	島田市
18. 国道150号静岡バイパス	立体化	平成30年 3月24日開通	静岡市
19. 県道駒越富士見線	交差点改良	3月25日開通	静岡市
20. 新富士インター城山線	新設整備	3月29日開通	富士市
21. 国道1号吉野町西交差点 左折レーン付加	交差点改良	12月9日開通	国
22. 静清バイパス牧ヶ谷IC～丸子IC	4車線拡幅	12月22日開通	国
23. 国道150号志太橋南バイパス	新設整備	2月21日開通	静岡県
24. 富士由比バイパス宮島東交差点	交差点改良	今年度工事着手予定	国
25. 柳島広町8号線	新設整備	3月末開通予定	富士市

総合対策等

箇所	実施施策	実施主体
26. (主)井川湖御幸線	・バス優先レーン等	静岡市、県警本部、しずてつジャストライン
27. 藤枝バイパス周辺	・国道1号藤枝バイパス短期対策(看板の設置)	国、静岡県、藤枝市
28. 大井川周辺	・大井川鉄道トーマス号運行期における渋滞対策[継続実施]	島田市
29. 静岡市全域	・バスターミナル、サイクルアンドライド駐輪場整備	静岡市
30. 日本平動物園周辺	・日本平動物園周辺の渋滞対策[継続実施]	静岡市
31. 富士市・富士宮市など	・富士山ゆっくの帰宅キャンペーン	国
32. 富士市・富士宮市など	・富士-富士宮間の観光交通誘導対策[継続実施]	国
33. 国道139号	・小泉若宮交差点 信号現示最適化	静岡県警

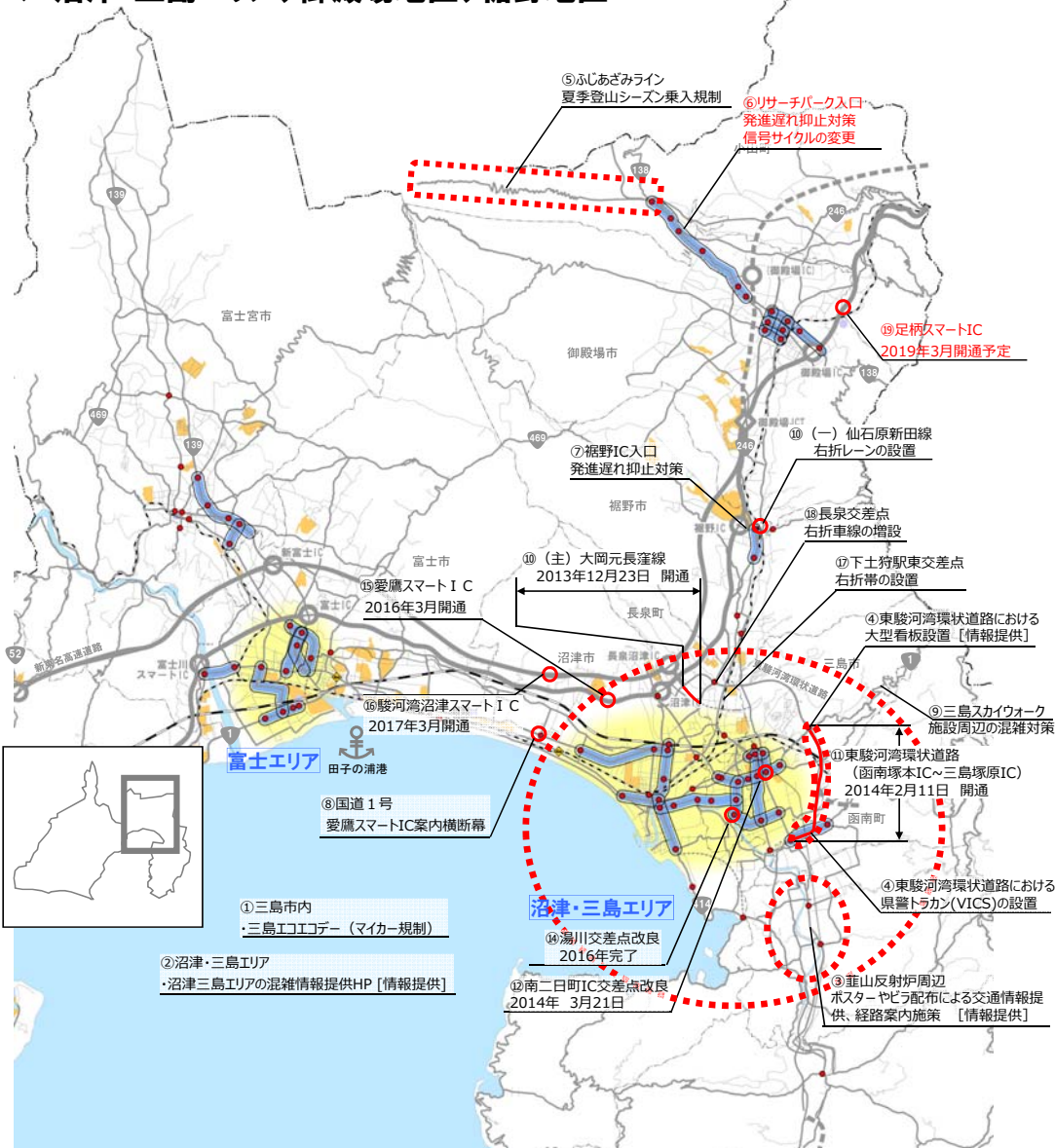
2. 今年度実施の主な取り組み

2-1 平成30年度に実施(完了)・検討した対策

(3) 東部地域

※2013年以降実施した対策も記載

◆ 沼津・三島エリア、御殿場地区、裾野地区



総合対策等

箇所	実施施策	実施主体
①三島市内	・三島エコエコー (マイカー削減) 継続中	・三島市
②沼津・三島エリア	・沼津三島エリアの混雑情報提供HP 継続中(2015年~)	・国
③韮山反射炉周辺	・ポスターやピラ配布による交通情報提供、経路案内施策 ・韮山反射炉への推奨ルートに恒久的な誘導看板を設置 継続中(2015年~)	・国 ・静岡県 ・伊豆の国市
④東駿河湾環状道路	・大型看板設置[情報提供] 継続中(2016年~) ・東駿河湾環状道路への県警トラカン(VICS)の設置	・国 ・静岡県警
⑤ふじあざみライン	・夏季登山シーズンの渋滞緩和及び自然環境の保全のためマイカーの乗り入れを規制 継続中(1994年~)	・小山町
⑥リサーチパーク入口交差点	・発進遅れ抑止対策(看板設置) 2016・2018実施 ・信号サイクルの変更 完了(2017)	・国 ・静岡県警
⑦裾野IC入口交差点	・発進遅れ抑止対策(横断幕設置) 2016年実施	・国
⑧国道1号	・愛鷹スマートIC誘導案内横断幕 完了(2017年)	・国
⑨三島スカイウォーク	・三島スカイウォーク周辺の混雑対策 継続中(2016年~)	・施設管理者

道路整備等

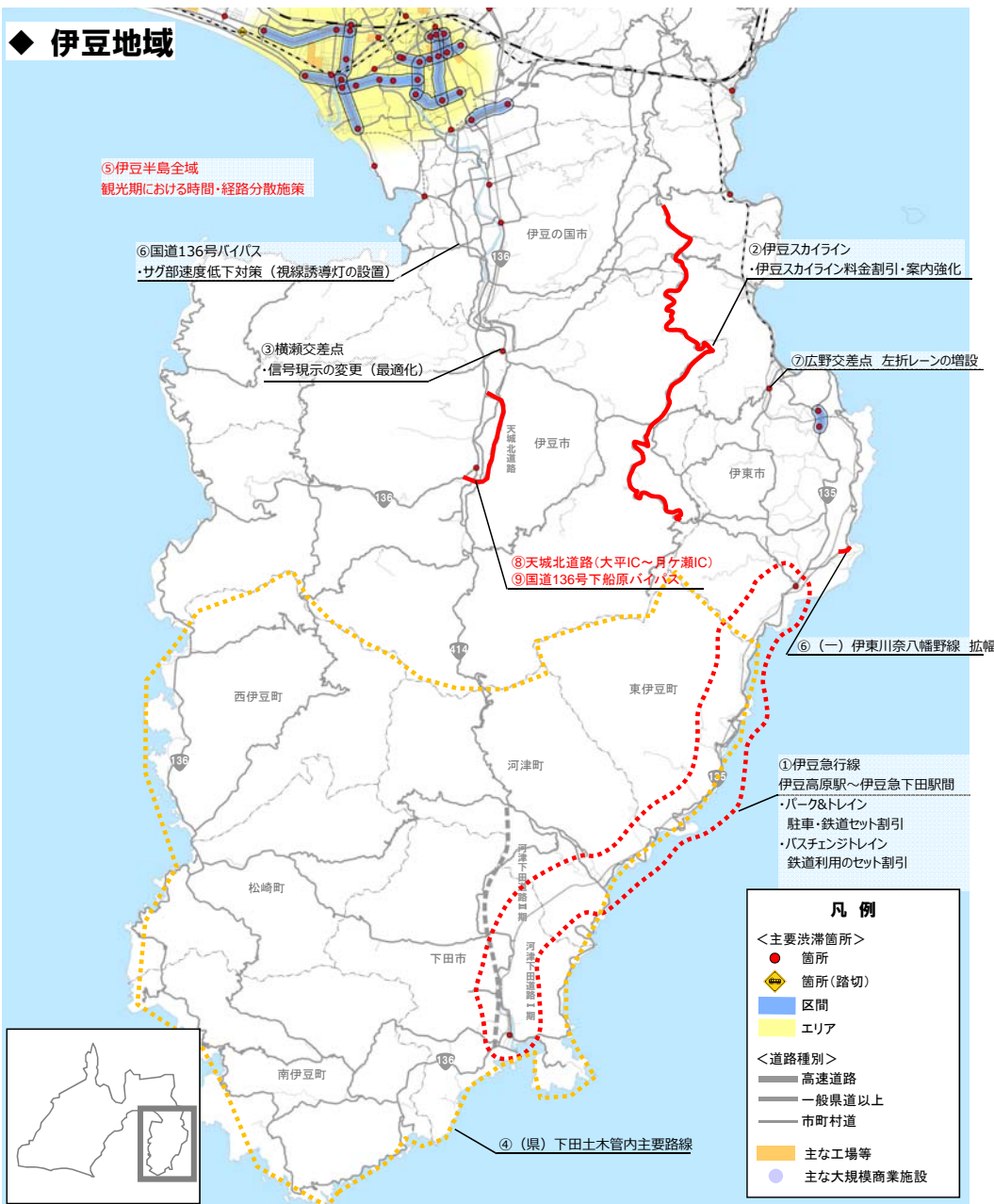
開通時期	事業	実施主体
2013年 12月	⑩(主)大岡元長窪線	・長泉町
2014年 2月	⑪東駿河湾環状道路 (三島塚原IC~函南塚本IC間)	・国
3月	⑫南二日町IC交差点改良	・国
3月	⑬(-)仙石原新田線 右折レーンの設置	・静岡県
2015年 3月	⑭湯川交差点改良	・静岡県
2016年 3月	⑮愛鷹スマートIC	・沼津市
2017年 3月	⑯駿河湾沼津スマートIC	・沼津市
3月	⑰下土狩駅東交差点 右折帯の設置	・長泉町
6月	⑱長泉交差点 右折車線の増設	・国
2019年 3月予定	⑲足柄スマートIC	・小山町

2. 今年度実施の主な取り組み

2-1 平成30年度に実施(完了)・検討した対策

(3) 東部地域

※2013年以降実施した対策も記載



総合対策等

箇所	実施施策	実施主体
①伊豆急行線 伊豆高原駅～ 伊豆急下田駅間	・パーク&トレイン駐車・鉄道セット割引 継続中 ・バスチェンジトレイン鉄道利用のセット割引 継続中	・伊東市 ・伊豆急行電鉄
②伊豆スカイライン	・経路検索のNAVITIMEサイトにバナー広告等を掲載するとともに、ルート案内 2016年実施 ・伊豆スカイライン料金割引・案内強化 継続中(2014年～) ・河津桜まつり会場周辺渋滞対策 継続中	・静岡県 ・静岡県道路公社 ・河津桜まつり実行委員会(河津町観光協会)
③横瀬交差点	・交通実態に合わせた、横瀬交差点を中心とした信号現示の変更(最適化) 検討中	・静岡県警 ・伊豆市
④(県)下田土木管内 主要路線	・夏季観光シーズンにおける道路工事の自粛 継続中 ・年末年始における道路工事の抑制 継続中 ・春季観光イベント期間における道路工事の自粛 継続中	・静岡県
⑤伊豆半島全域	・河津桜まつり期間中における時間・経路分散施策(チラシの配付) 継続中(2017年～) ・夏期観光期における時間・経路分散施策(チラシの配付)	・国
⑥国道136号バイパス	・サグ部速度低下対策(視線誘導灯の設置) 継続中(2018年～)	・静岡県

道路整備等

開通時期	事業	実施主体
2014年 8月	⑥(一)伊東川奈八幡野線 拡幅	・静岡県
2017年 1月	⑦広野交差点 左折レーンの設置	・静岡県
2019年 1月	⑧天城北道路(大平IC～月ヶ瀬IC) ⑨国道136号下船原バイパス	・国 ・静岡県

2. 今年度実施の主な取り組み

2-2 西部地域の主な取り組み (1) 掛川バイパス:SL看板の設置・チラシの配布による情報提供(実施主体:国交省)

① 対策実施の検討フロー

- 掛川バイパスの「サグ部での無意識な速度低下」について、平成28年度からS L看板を設置し、速度低下を抑制する対策を実施している。
- 平成28年度は、「道路構造（縦断勾配）」に着目した箇所に看板を設置、平成29年度は、「速度低下区間及び道路構造（縦断勾配）」に着目した箇所に看板を設置した。
- 今年度は、ETC2.0プローブデータやCCTVを活用した渋滞発生メカニズムの検証や、過年度までに設置している看板の視認性についてアイカメラを活用した検証の結果、更なる情報提供を実施。
- その他、掛川バイパスの渋滞状況や、その対策（S L看板）の主旨を周知することを目的に、道の駅及び静岡県・掛川市の施設に“掛川バイパスの渋滞状況・S L看板の設置状況”のチラシを常設し、恒常的な情報提供を実施
- 今年度より、国・静岡県・掛川市と掛川バイパス渋滞対策勉強会を開始。渋滞要因やSL看板設置による対策内容の共有の他、来年度以降の対策として利用ICの平準化・分散等による交通状況の改善を検討していく。

【掛川バイパスの交通課題・要因】

《渋滞》

- ✓ 周辺市町から掛川BP沿線立地企業への通勤交通の集中により、**朝夕の通勤時間帯を中心渋滞が発生（上り：大池IC先頭、下り：西郷IC先頭とした渋滞が顕著）**

《要因》

- ✓ 混雑度が1.0を大幅に超過（1.7）、ピーク時には最大安定交通量※を超過する等、慢性的な容量不足
- ✓ 大池IC、西郷IC、宮脇ICはサグになっており、縦断勾配の変化による無意識な速度低下が発生
- ✓ ランプ流入部がサグになっているとともに、大池IC（上り）や西郷IC・宮脇IC（下り）の流入交通が非常に多く、合流部付近で急ブレーキ挙動が頻発し、速度低下を助長

※最大安定交通量：これ以上の交通量が流れると渋滞発生リスクが高まる交通量
⇒速度低下（30km/h）が発生する直前の時間交通量
※例えば、8時台の速度が初めて30km/hを下回った場合、7時台の交通量を示す



≪平成28・29年度≫

速度低下区間及び道路構造（上り坂付近）に着目した箇所に設置

ETC2.0プローブデータを活用して、効果検証
↓
速度低下車両割合の減少
急ブレーキ発生回数の減少

≪平成30年度≫

ETC2.0プローブデータ・CCTVを活用して、渋滞発生メカニズムを再検証
↓
既設看板の視認性をアイカメラを活用して再検証

渋滞発生メカニズム・看板の視認性に着目した箇所に設置
↓
渋滞状況・対策の周知を目的としたチラシを常設（道の駅及び静岡県・掛川市の関連施設）

※検証結果やそれによる看板設置箇所は、勉強会にて共有

≪平成31年度≫

ETC2.0プローブデータを活用して、効果検証
↓
渋滞時間短縮の検証
旅行速度向上・低速車両割合の検証
合流部における急加減速の低減の検証

2. 今年度実施の主な取り組み

2-2 西部地域の主な取り組み (1) 掛川バイパス:SL看板の設置・チラシの配布による情報提供(実施主体:国交省)

② 過年度設置したSL看板の効果と問題点・課題

■ 発現した効果と残存する課題

《SL看板設置のコンセプト》

✓H28年度は道路構造(上り坂付近)に着目した箇所に設置し、H29年度はETC2.0プローブデータを活用し、速度低下が発生する箇所にも着目し、新たな看板を設置

【平均速度の変化(平日7時台)】



課題: 低速域通過後の円滑な速度回復

- ✓SL看板により“減速注意”の注意喚起をする事で、低速車両の減少・低速域の速度向上が図られた
- ✓ただし、上り線の大池IC付近では、“ここは上り坂 減速注意”の看板設置に関わらず、速度低下は解消されていない
- ⇒渋滞発生起点であるサグ部(上り坂付近)の速度回復を図る必要がある

■ SL看板の視認性

《SL看板の視認性・情報提供間隔》

✓掛川BPをアイカメラ装着による走行調査を行い、既設看板の視認性のチェックを行った。

【上り看板的視認性*: 平日6時台(渋滞直前)】

○: ドライバーの目線位置



✓上り線は、看板の設置間隔が広い上にまちまちで、一定速度で走行した場合には、看板を見落とす可能性がある。走行調査の結果からも視認性の低さが確認された。

【下り看板的視認性: 平日6時台(渋滞直前)】



✓下り線は、連続(200~300m毎)して看板が設置されており、走行調査の結果からも、各看板は概ね視認されている。

※上り線の230.7kpの看板は合流部の看板のため除く

- ✓看板が連続的に配置されていない上り線では、運転者の見落としにより情報提供ができていない可能性
- ✓看板の存在を運転者が認識・理解し、行動に移すには、看板を連続的に配置して、看板の見落としを回避し、さらに理解してもらう必要がある。

⇒速度低下の発生地点周辺において、連続した看板の設置により情報提供を行い、視認性の向上(見落としの回避)・理解の促進を図ることが必要。

2. 今年度実施の主な取り組み

2-2 西部地域の主な取り組み (1) 掛川バイパス:SL看板の設置・チラシの配布による情報提供(実施主体:国交省)

③ SL看板追加設置内容

《情報提供ポイント》

230.2~230.6kpに5つのSL看板を設置 (うち3つは新設、2つは付け替え)

《情報提供内容》

上り坂直前の速度低下注意を促し、上り坂で低下した速度を回復させるSL看板を連続的に配置。

⇒ “ここから上り坂 速度低下注意” “ただいま上り坂 速度回復”

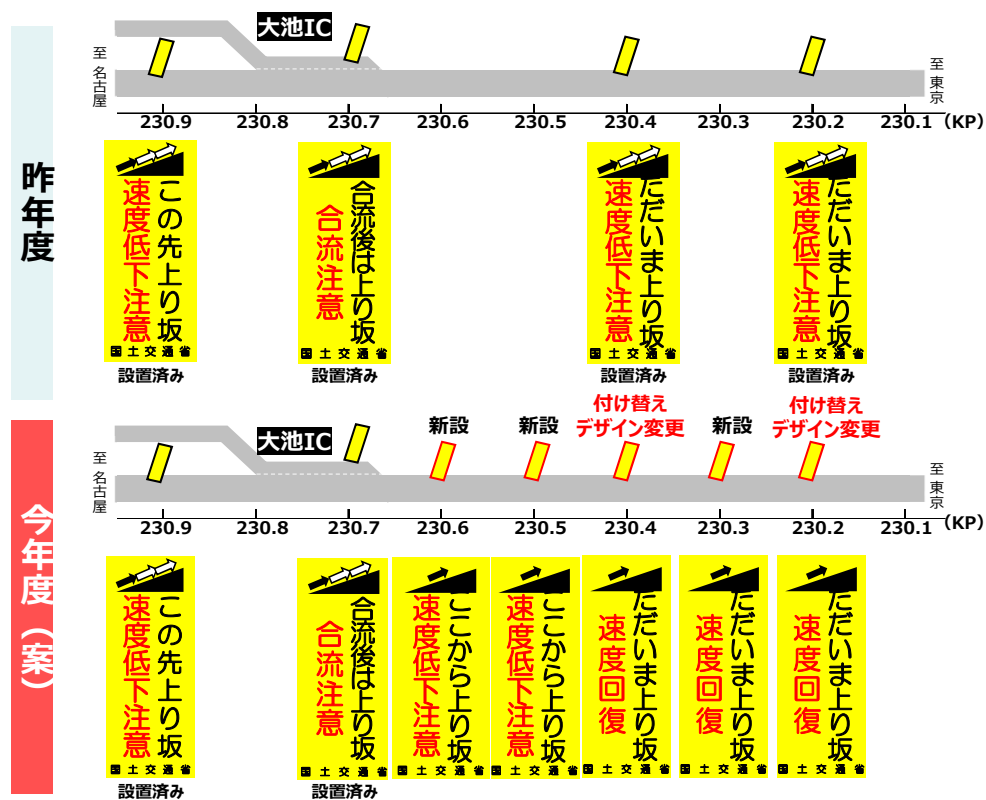
《設置間隔》

視認性を高めるため、試験的に100m間隔で情報提供を行う

《設置時期》

H31.2月に実施

■ 看板設置箇所 (上り方面) の詳細



④ 情報提供チラシ配布内容

■ 過年度の対策実施状況

【情報提供内容】

- 通勤時間の15分毎の通過時間を提供し、混雑時間を避けるように促すチラシ
- 掛川バイパスの渋滞発生メカニズムを周知するチラシ

【情報提供先】

- 沿線住民(10地区)に約2,300部を配布
- 沿線企業(26社)を訪問、時差出勤の取り組みを依頼時に配布

【国・県・市での勉強会】

- 掛川B P通勤利用者より『看板は確認したが、なぜ“速度回復が必要なのか”が不明』との意見
- S L看板と合わせ、渋滞要因の周知が改めて必要

【今年度のチラシ配布方針案】

- “掛川バイパスの渋滞状況・S L看板の設置状況”について周知するチラシを常設し、恒常的な情報提供を実施
- 内容については簡略化して分かりやすく
- SL看板の設置は、H31.2に実施

■ 配布するチラシ

国道1号 掛川バイパス 渋滞状況

緩やかな上り坂での無意識な速度低下にご注意を！！

- 上下線で車の通過時間等を中心に渋滞が発生しています。
- 特に、上り線(静岡方面)では大型(対向、下り線(浜松方面)では両側(C~宮脇)付近の上り坂で速度低下が発生しています。



国道1号 掛川バイパス 対策実施

この注意喚起看板を見たら速度回復をお願いします！

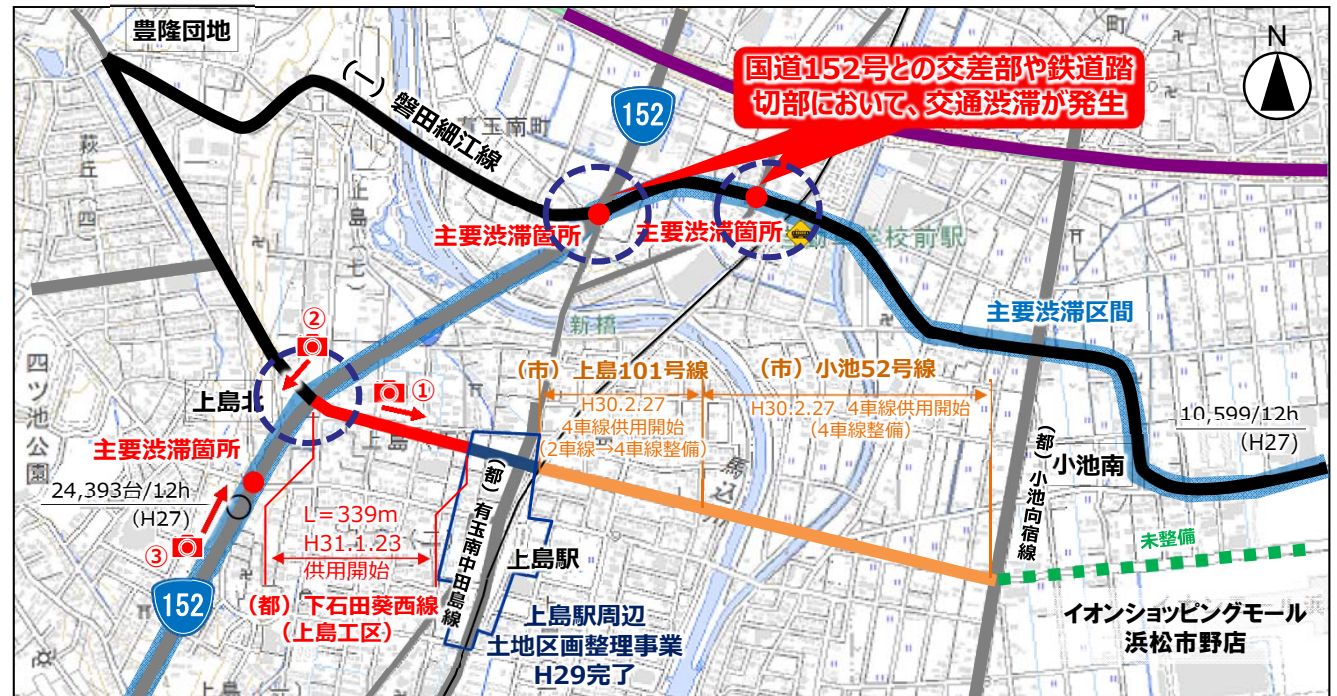
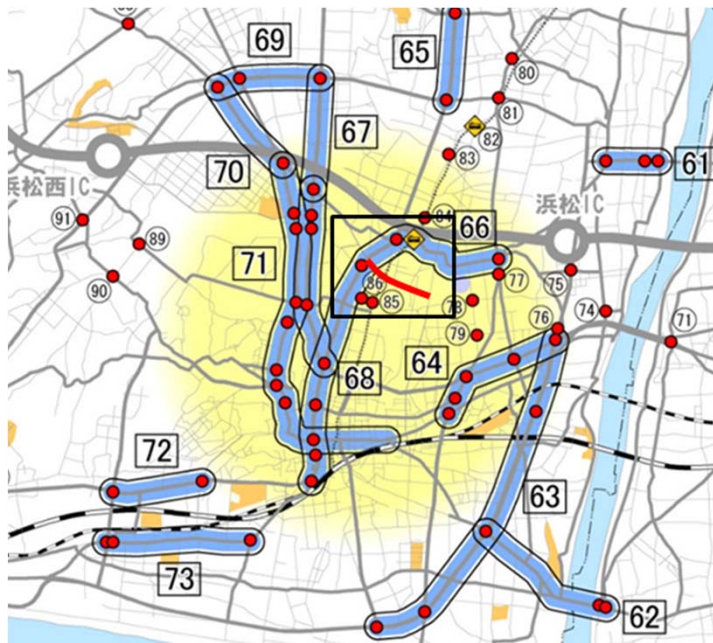


2. 今年度実施の主な取り組み

2-2 西部地域の主な取り組み

(2) (都)下石田葵西線(上島工区)整備事業について(実施主体:浜松市)

- (一) 磐田細江線では、浜松市の幹線放射軸である国道152号との交差点や鉄道踏切部において、交通渋滞が発生。
- (都) 下石田葵西線(上島工区)は平成23年度より事業化され、整備が進められていた。
- (都) 下石田葵西線の整備に併せ、(市)上島101号線、(市)小池52号線を平成30年2月に4車線供用。平成31年1月23日には、(国)152号から(都)有玉南中田島線区間のL=339mが供用開始。
- 当該区間の整備により、並行する(一)磐田細江線の渋滞解消に寄与すると考えられる。
- 下図の青丸(破線)箇所において来年度の秋頃に渋滞調査を実施し、開通による交通円滑化効果を把握する。



2. 今年度実施の主な取り組み

2-2 西部地域の主な取り組み

(3) 館山寺スマートIC(実施主体:浜松市・NEXCO中日本)(平成31年3月17日開通)

【期待される効果】

- 館山寺への観光客は県外からが多く、その大半は自動車による来訪で浜松西ICを利用しているが、5月の観光シーズンを中心に、そのルート上で渋滞が発生している。
- 現状では、館山寺や雄踏、弁天島の観光地への高速アクセスは、浜松西ICに集中しているため、観光地へのアクセスが集中し周辺道路の混雑を助長しているが、スマートICの整備により、観光交通が利用するICが分散し、周辺道路の混雑緩和が期待できる。

【今後のスケジュール】

- H31年の観光シーズン(春・秋)の2回にわたり、すじかい橋交差点において渋滞長を調査し、開通による効果検証を行う。

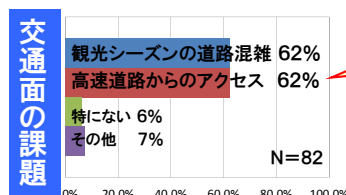
<浜松市内観光拠点から高速ICへのアクセス向上>

<高速道路から観光拠点へのアクセス>



※H22道路交通センサス、H24.5調査時の渋滞通過時間

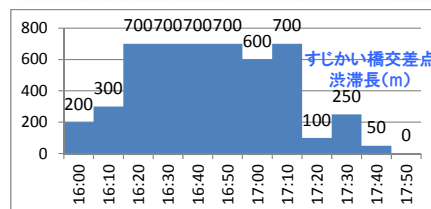
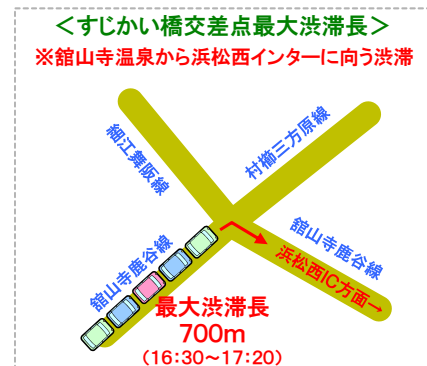
<観光関係者アンケート結果(H24.10)>



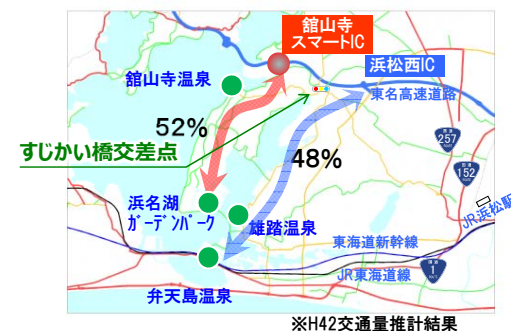
観光関係者へのアンケートによれば、館山寺周辺地区の交通面での課題は、観光シーズンの道路混雑が6割を占める

観光シーズンの道路混雑は深刻な課題

<館山寺アクセス路の渋滞状況>



<高速道路から観光拠点へのアクセス>



出典:H24.5.4調査結果(浜松市)

2. 今年度実施の主な取り組み

2-3 中部地域の主な取り組み

(1) 国道1号静岡清バイパス（実施主体:国） < 平成30年12月22日 4車線化開通 >

- 平成30年12月22日に静岡清バイパス丸子IC～牧ヶ谷IC間が4車線開通し、静岡清バイパスが全線4車線供用された。
- 丸子ICや牧ヶ谷ICを先頭とした速度低下が発生していたが、4車線化により丸子IC～牧ヶ谷IC間の速度低下は概ね解消。

■ 静岡清バイパス丸子IC～牧ヶ谷IC間の概要



➢ 牧ヶ谷IC～丸子IC間

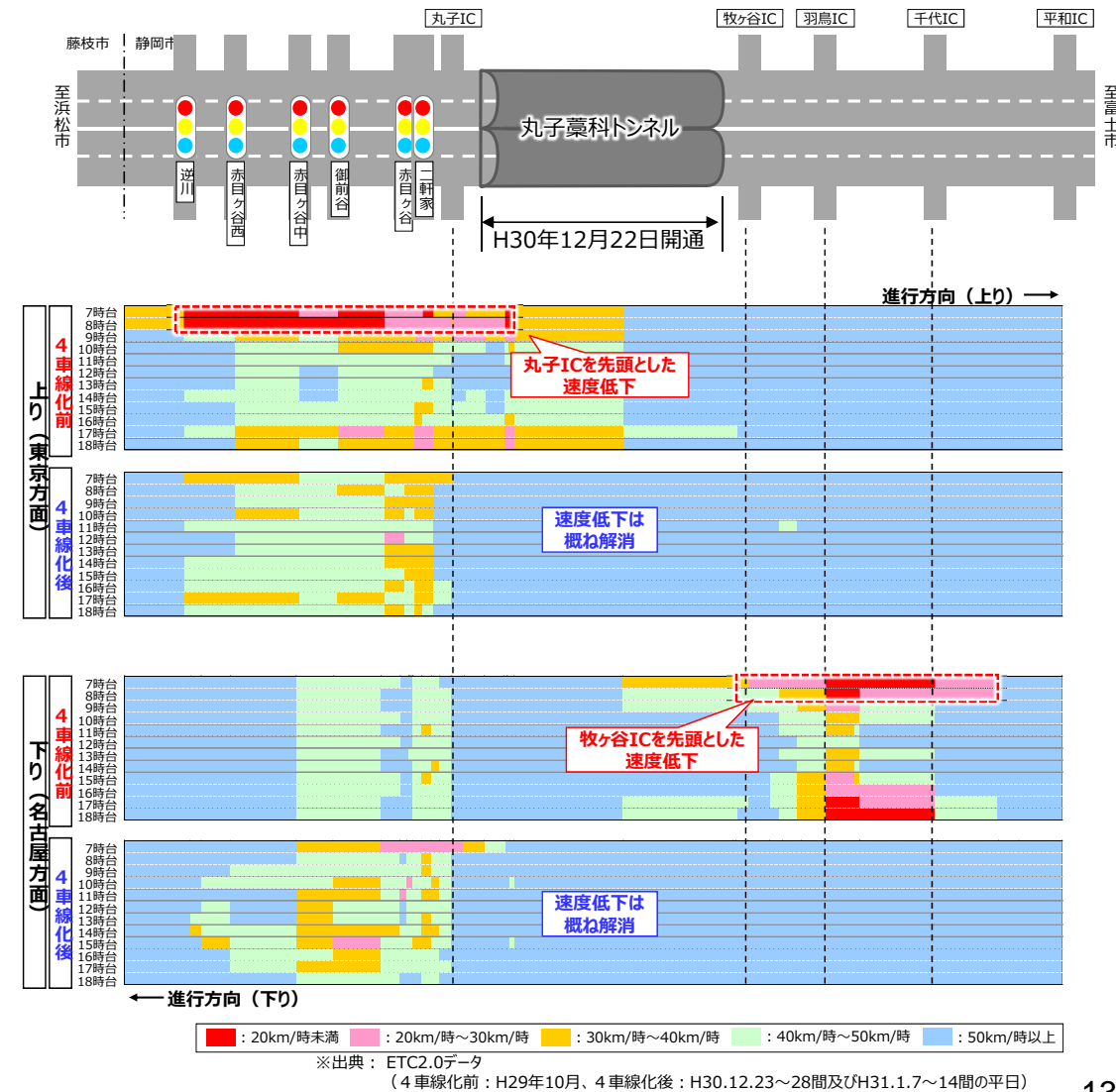
➢ 清水立体：工事状況

[牧ヶ谷IC付近]

[千日原交差点付近]



■ 時間帯別旅行速度の変化



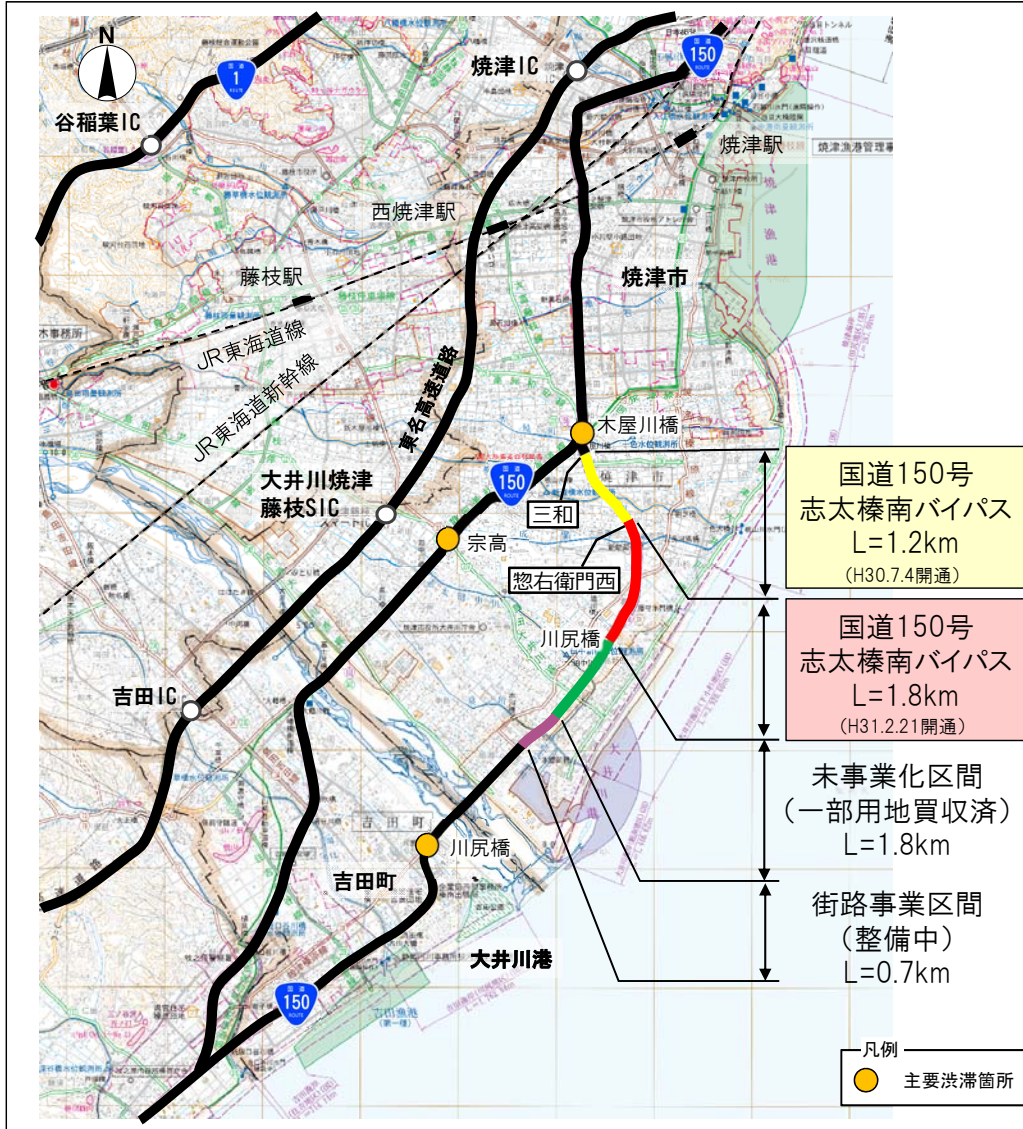
2. 今年度実施の主な取り組み

2-3 中部地域の主な取り組み

(2) 志太榛南バイパス4車線化（実施主体：静岡県） <平成31年2月21日完了>

- 国道150号現道には、木屋川橋交差点、宗高交差点に主要渋滞箇所が存在する。
- 国道150号志太榛南バイパスは、平成31年2月21日に事業中のL=3.3km区間（既4車線化区間0.3km含む）の4車線化が完了する。

■ 対策概要



■ 整備状況、期待される効果



2. 今年度実施の主な取り組み

2-3 中部地域の主な取り組み

(3) 国道139号 富士・富士宮市内の渋滞対策（実施主体：国） <継続実施>

1) 対策実施内容

- 国道139号富士宮市街地区間においては、観光期には、富士山周辺来訪者の観光交通により、休日の夕方を中心に激しい渋滞が発生。
- 観光渋滞の緩和を目的に、過年度実施した対策等を踏まえ、常設HPを開設するとともに、『迂回ルート案内による空間分散』『混雑時間帯のワンモア観光案内による時間分散』『発進遅れに対する注意喚起』を実施

《対策実施期間》

平成30年10月27日(土)
～平成30年11月26日(日)

※常設HP：H30.8月より開設

《実施した対策と連携機関》

HP開設/SNS配信/チラシ・ポスター/案内看板設置/横断幕設置：国土交通省（静岡国道）

HPバナー/SNS(リツイート含む)/チラシ・ポスター：国土交通省（沼津河川国道・甲府河川国道）

HPバナー/SNS(リツイート含む)：静岡県・富士宮市・富士市・富士河口湖町・鳴沢村・観光協会(静岡県・富士宮市・富士河口湖町)

チラシ・ポスター：道の駅（8箇所）・観光地・観光施設（11箇所）・コンビニエンスストア（3箇所）等

■ 対策実施概要

《チラシ・ポスター配布と案内看板設置》



《常設HPの開設》



常設HPを開設
周辺自治体・関係機関HPにバナーを設置

《Twitterによる情報提供》



「Twitter配信計画」を立案し、
毎週金曜日に静岡Twitterで配信

《道の駅等における対策PR活動》



撮影年月日：平成30年11月3日



撮影年月日：平成30年11月10日

《小泉若宮交差点部への横断幕設置（発進遅れ注意喚起）》

混雑緩和のため スムースな発進 にご協力を!
(観光シーズン)

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会 国土交通省 静岡国道事務所

小泉若宮交差点付近のオーバースタックに
発進遅れの注意喚起を促す横断幕を設置



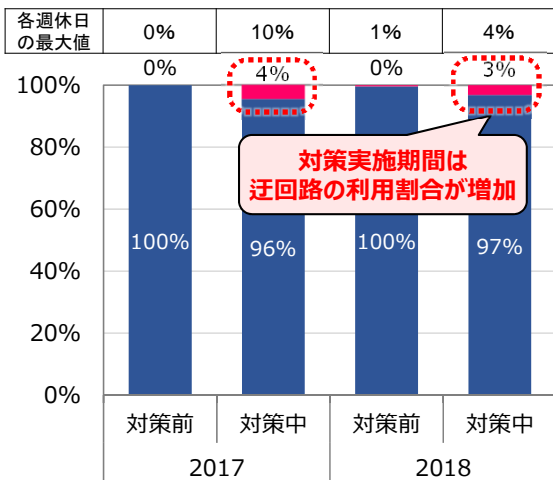
撮影年月日：平成30年10月25日 ※対策期間前の設置日に撮影

2. 今年度実施の主な取り組み

2) 対策効果

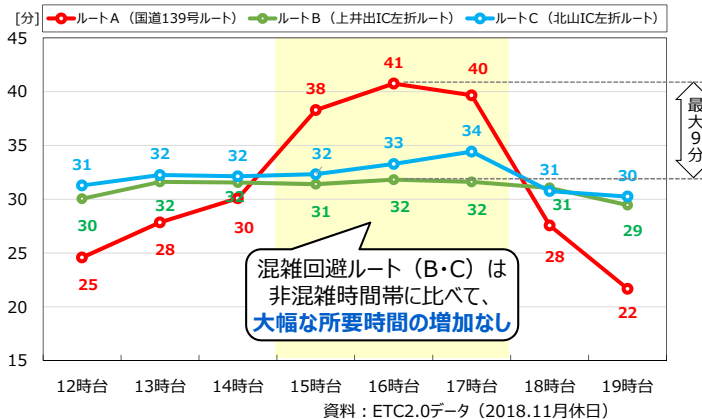
- 対策前に比べ、対策実施期間における混雑回避ルートの分担率は約3~4%に増加している。
- 所要時間については、最大9分の短縮効果がみられた。
- 対策に関する意見については、国道139号渋滞ソフト対策の充実・PR等に対する意見が最も多く、提供情報の充実・高度化に対する意見も挙げられた。

■ 経路分担率の変化（昨年との比較）



2017 国道139号ルート (ルートA) 混雑回避ルート (ルートB・C)
 対策中：2017.10.28(土)～11.26(日) 2018.10.27(土)～11.25(日)
 対策前：各年 10月第1～3週の休日 資料：ETC2.0データ (休日、14～18時台)

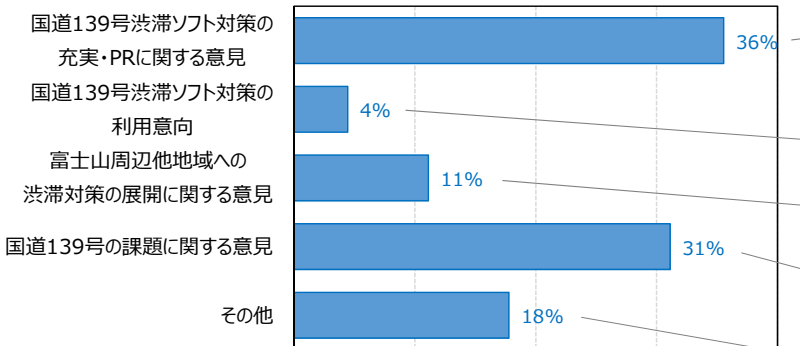
■ ルート別所要時間



混雑回避ルート (B・C) は非混雑時間帯に比べて、大幅な所要時間の増加なし

資料：ETC2.0データ (2018.11月休日)

■ 対策についてのご意見



(N=45)

資料：道の駅朝霧高原・民間観光施設におけるアンケート調査

【更なるPR・情報発信を求める意見】

- ・この対策についてもっとPRして欲しい。
- ・案内看板をもっと目立つようにして欲しい。

【提供情報の充実・高度化に対する意見】

- ・広報に載せて呼びかけてはどうか。
- ・回避ルートをもっと分かり易くした方が良い。

【回避ルート利用による相乗効果への期待】

- ・回避ルートを知り、是非利用してみたいと思った。

- ・5月連休の芝桜シーズンに、渋滞で迷惑している。
- ・田貫湖、養鱒場のルートも掲載すると良いと思う。

- ・国道139号 (富士宮市内区間) に信号が多すぎる。
- ・2車線になれば良いと思う。
- ・観光客と通勤者の通路を考慮すれば良いと思う。

- ・トラックが多く怖いと思う。
- ・観光シーズンや土、日の工事は避けて欲しい。

■ 計測箇所およびルート



2. 今年度実施の主な取り組み

2-3 中部地域の主な取り組み

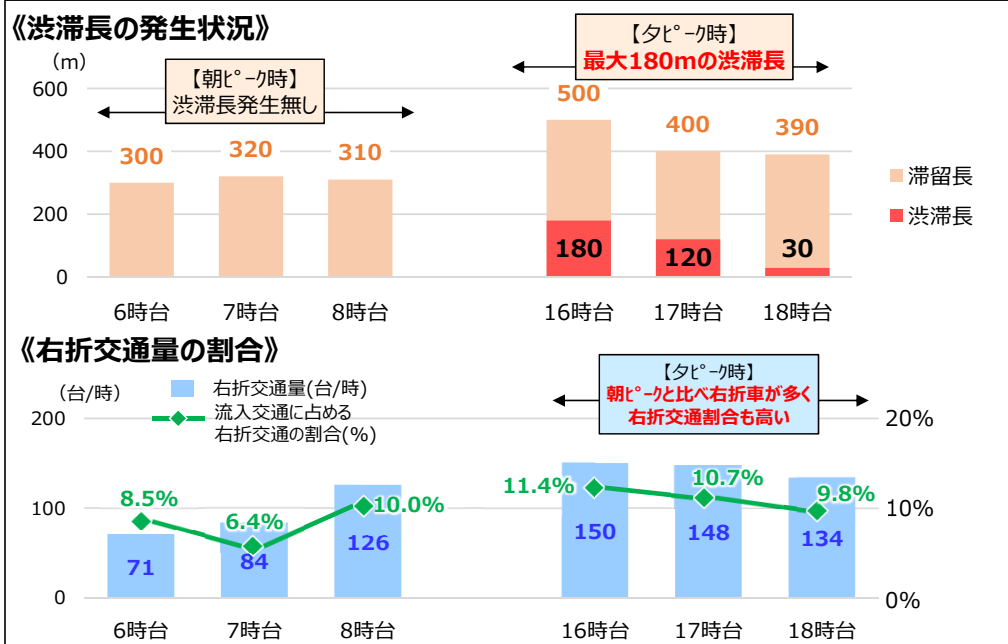
(4) 富士由比バイパス宮島東交差点（実施主体:国） <今年度工事着手予定>

- 宮島東交差点の下り方向では、夕ピーク時に最大180mの渋滞が発生しており、当該交差点の滞留が発生する美土原交差点へも影響。
- 夕ピーク時は右折車両が多く流入しており、右折レーンを越えて滞留が発生するため直進車両を阻害。
- 下り線右折2車線化に向けて、今年度工事着手予定。

■ 対策位置図

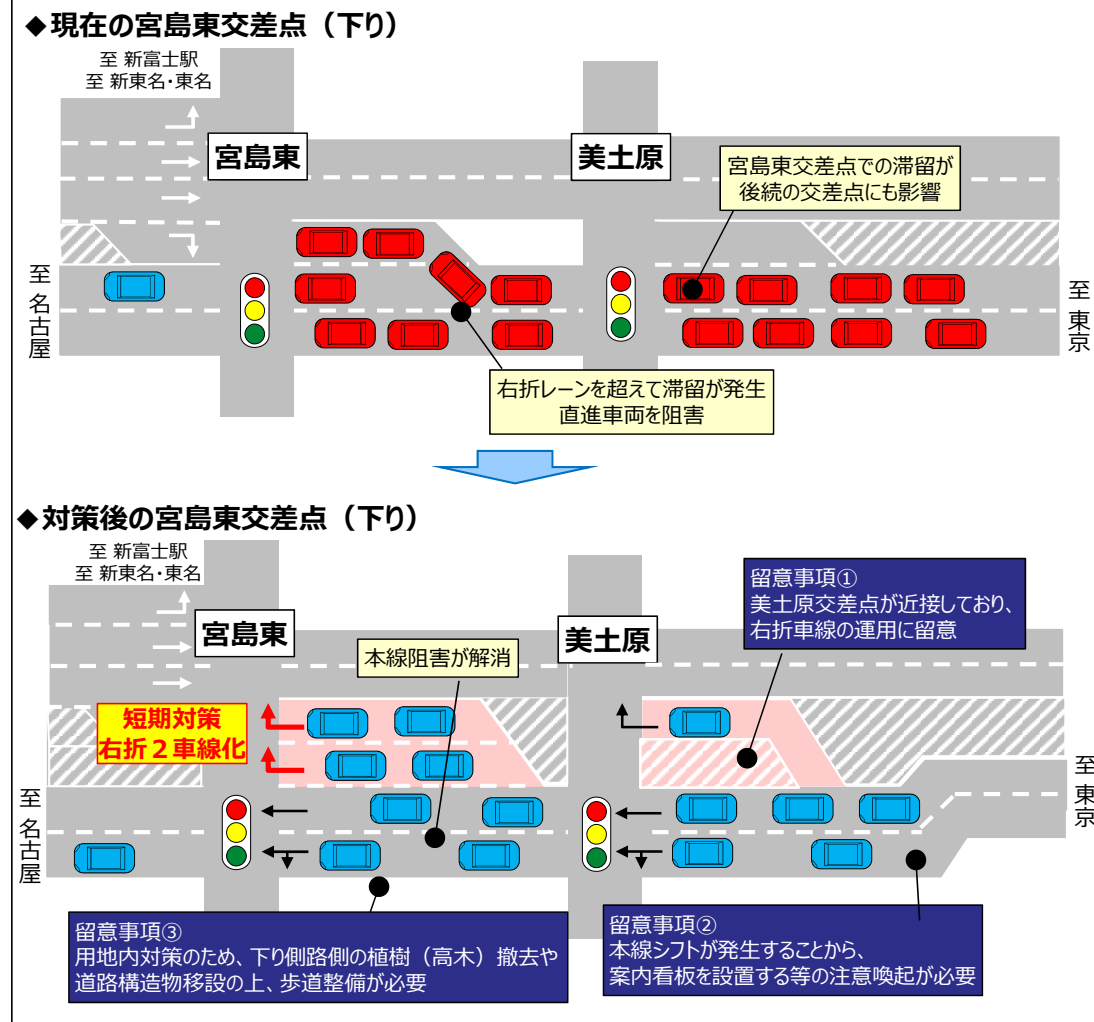


■ 宮島東交差点(下り方向)の渋滞発生状況



データ：H28.10.18(火)実態調査結果

■ 対策概要



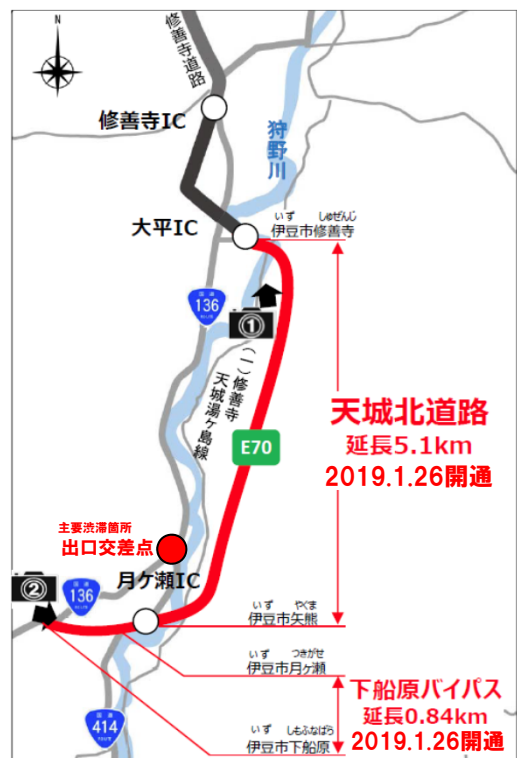
2. 今年度実施の主な取り組み

2-4 東部地域の主な取り組み

(1) 天城北道路(大平IC～月ヶ瀬IC)・国道136号下船原バイパス(静岡県伊豆市下船原～月ヶ瀬)開通

- 伊豆縦貫自動車道天城北道路と国道136号下船原バイパスが2019年1月26日(土)に開通
- 天城北道路は、伊豆縦貫自動車道の一部をなし、伊豆半島への高速交通サービスの提供、交通混雑の緩和などを目的に事業化。
- 天城北道路の開通に伴い、主要渋滞箇所の出口交差点の渋滞が緩和される見込み。

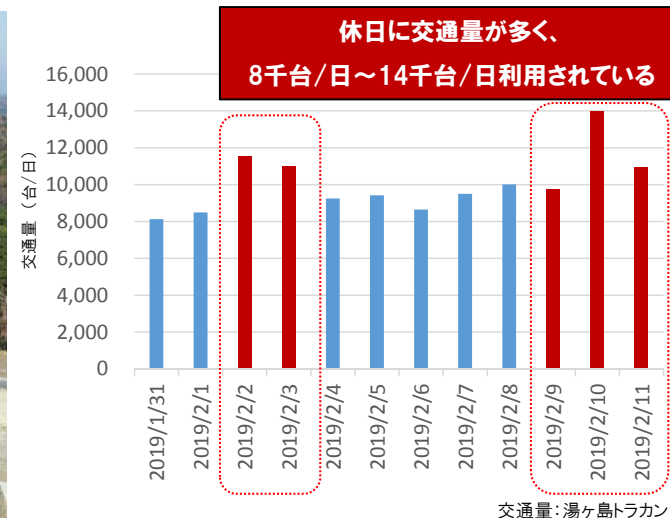
位置図



①【天城北道路】



開通直後の交通量(日交通量)



開通式(テープカット・パレードの様子)



②【下船原バイパス】



2. 今年度実施の主な取り組み

2-4 東部地域の主な取り組み

(3) 夏期観光期における時間・経路分散施策 (実施主体: 静岡県道路公社、静岡県、国、伊豆道の駅ネットワーク協議会)

- 混雑の激しい夏期観光期 (お盆休み) に伊豆半島の8つの道の駅と伊豆半島の主要な観光施設・観光協会に案内チラシを設置し、時間分散・経路分散を促す取り組みを実施。
- 混雑していない時間帯や伊豆スカイラインを利用した帰宅経路、夜景スポットを案内し経路分散を促進。
- 各道の駅、観光施設ごとに出発時間ごとの所要時間グラフや周辺の観光施設を案内し時間分散を促進。

■ チラシを配付した道の駅

伊東マリンタウン	開国下田みなと
天城越え	伊豆のへそ
花の三聖苑伊豆松崎	下賀茂温泉湯の花
くら戸田	伊豆ゲートウェイ函南

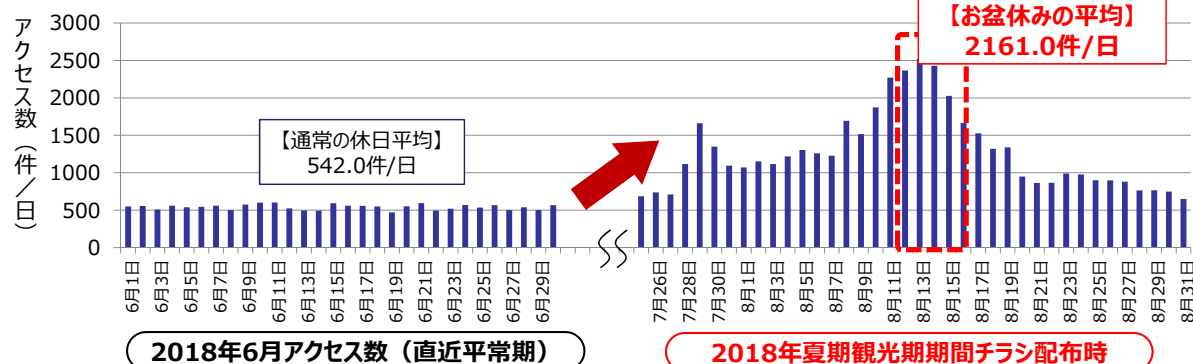
■ チラシを配付した観光協会

熱海市観光協会	沼津観光協会
伊東観光協会	三島市観光協会
東伊豆観光協会	伊豆市観光協会
西伊豆観光協会	伊豆の国観光協会
河津町観光協会	土肥観光協会
下田市観光協会	伊豆白浜観光協会
南伊豆観光協会	外浦観光協会
松崎町観光協会	

■ チラシを配付した伊豆半島の主要な観光施設

アカオハーブ&ローズガーデン	旅の駅グランパルポート
伊豆シャボテン公園	黄金崎クリスタルパーク
浄蓮の滝観光センター	伊豆アニマルキングダム
土肥金山	下田海中水族館
熱川バナナワニ園	iZoo

■ 混雑情報提供ウェブサイトのアクセス数推移



■ 混雑情報ウェブサイト



■ 配付したチラシ

※2019年1月26日(土)に開通した天城北道路は未反映

2. 今年度実施の主な取り組み

2-4 東部地域の主な取り組み

(4) 河津桜まつり期間中における時間・経路分散策 (実施主体: 静岡県道路公社、静岡県、国、伊豆道の駅ネットワーク協議会)

- 2019年2月9日～3月10日に、伊豆スカイラインの通行料金(通常980円)が最大約5割引となる割引キャンペーンを実施。
- 料金割引内容と伊豆スカイラインを利用した際の時間短縮効果についてチラシに記載し、配布することで利用を促進。
- さらに、国道135号・国道136号に伊豆スカイラインへ誘導する看板を設置することで伊豆スカイラインの利用を促進。

■ 看板位置図



● 設置看板

伊豆スカイライン(有料)へ

国道135号渋滞時は
小田原方面
約2km先
左折

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会伊豆WG
静岡県熱海土木事務所

● 設置看板

伊豆スカイライン(有料)へ

厚木方面へ向かう方へ
東名沼津IC方面渋滞時は

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会
静岡県沼津土木事務所

■ 配付チラシと混雑時における所要時間の比較

配布チラシ(2019年)

料金割引の案内

区間 section	熱海峠I.C. Atami Pass I.C.	天城高原I.C. Amagikoogen I.C.	小田原料金所 Odawara Tollgate	天城高原I.C. Amagikoogen I.C.																				
伊豆スカイライン	<table border="1"> <tr><td>二輪車 Motorcycle</td><td>300円 (270円お得)</td></tr> <tr><td>普通車 Standard size Vehicles</td><td>500円 (480円お得)</td></tr> <tr><td>マイクロ Microbus</td><td>1,300円 (1,150円お得)</td></tr> <tr><td>大型 Over size Vehicles</td><td>2,000円 (1,970円お得)</td></tr> </table>		二輪車 Motorcycle	300円 (270円お得)	普通車 Standard size Vehicles	500円 (480円お得)	マイクロ Microbus	1,300円 (1,150円お得)	大型 Over size Vehicles	2,000円 (1,970円お得)	<table border="1"> <tr><td>片道 one way</td><td>二輪車 Motorcycle</td><td>800円 (400円お得)</td></tr> <tr><td></td><td>普通車 Standard size Vehicles</td><td>1,200円 (650円お得)</td></tr> <tr><td>往復 round trip</td><td>二輪車 Motorcycle</td><td>1,500円 (900円お得)</td></tr> <tr><td></td><td>普通車 Standard size</td><td>2,200円 (1,500円お得)</td></tr> </table>		片道 one way	二輪車 Motorcycle	800円 (400円お得)		普通車 Standard size Vehicles	1,200円 (650円お得)	往復 round trip	二輪車 Motorcycle	1,500円 (900円お得)		普通車 Standard size	2,200円 (1,500円お得)
二輪車 Motorcycle	300円 (270円お得)																							
普通車 Standard size Vehicles	500円 (480円お得)																							
マイクロ Microbus	1,300円 (1,150円お得)																							
大型 Over size Vehicles	2,000円 (1,970円お得)																							
片道 one way	二輪車 Motorcycle	800円 (400円お得)																						
	普通車 Standard size Vehicles	1,200円 (650円お得)																						
往復 round trip	二輪車 Motorcycle	1,500円 (900円お得)																						
	普通車 Standard size	2,200円 (1,500円お得)																						
<p>営業時間 伊豆スカイライン: 6:00~22:00 アネスト岩田ターンバイク箱根: 5:30~22:30</p> <p>割引通行券販売箇所 小田原料金所・熱海峠料金所・天城高原料金所</p> <p>※熱海峠料金所は伊豆スカイライン割引券のみ販売 ※125cc以下の二輪車は伊豆スカイライン、アネスト岩田ターンバイク箱根は通行できません。</p>																								

割引クーポン付!
A・B施設

幹線道路の混雑時における所要時間の比較

河津桜まつり時の所要時間

厚木I.C.→河津桜 (11,000円)	伊豆スカイライン・ターンバイクルート(173分)	新東名・国道414号ルート(214分)	国道135号ルート(213分)
河津桜→厚木I.C. (17,000円)	伊豆スカイライン・ターンバイクルート(225分)	新東名・国道414号ルート(230分)	国道135号ルート(259分)

(資料) 厚木I.C.→河津桜(2017.2.17~2017.2.28の休日)
静岡県道路交通渋滞対策推進協議会

割引通行券をお持ちの方にレストハウス・PAで利用できるお得なクーポンをプレゼントしさらに利用を促進する。

2. 今年度実施の主な取り組み

2-4 東部地域の主な取り組み

(4) 河津桜まつり期間中における時間・経路分散策 (実施主体: 静岡県道路公社、静岡県、国、伊豆道の駅ネットワーク協議会)

- 2019年2月10日～3月10日に、伊豆スカイラインの通行料金(通常980円)が最大約5割引となる割引キャンペーンを実施。
- 道の駅、観光協会、観光施設などと協力して、混雑する時間帯や経路を案内するチラシを配布を行った。
- さらに、チラシだけでなくインターネット上からも新たにバナーを設置して情報発信を行い、チラシとインターネットの双方から情報発信を実施中。

■ チラシ配付した観光協会

熱海市観光協会
伊東観光協会
東伊豆観光協会
西伊豆観光協会
河津町観光協会
下田市観光協会
南伊豆観光協会
松崎町観光協会
沼津観光協会
三島市観光協会
伊豆市観光協会
伊豆の国観光協会
土肥観光協会
伊豆白浜観光協会
外浦観光協会

■ 配付するチラシ

■ スマートフォン・PCサイトのバナー設置



掲載例: 伊豆市観光協会ホームページ

■ チラシ配付した道の駅

伊東マリンタウン	開国下田みなと
天城越え	伊豆のへそ
花の三聖苑伊豆松崎	下賀茂温泉湯の花
くら戸田	伊豆ゲートウェイ函南

■ チラシ配付した伊豆半島の主要な観光施設

アカオハーブ&ローズガーデン	旅の駅グランパルポート	熱川バナナワニ園
伊豆シャボテン公園	黄金崎クリスタルパーク	iZoo
浄蓮の滝観光センター	伊豆アニマルキングダム	河津バガテル公園
土肥金山	下田海中水族館	

各施設からの時間帯別の所要時間を記載した情報WEBページを作成し、インターネット上からも情報発信を実施中。

2. 今年度実施の主な取り組み

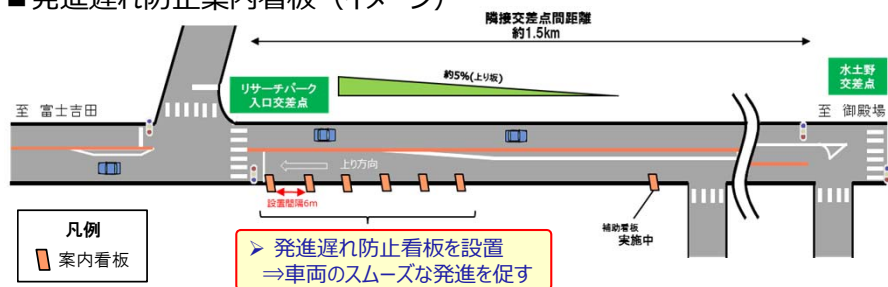
2-4 東部地域の主な取り組み

(5) 国道138号リサーチパーク入口交差点 発進遅れ抑止対策 (実施主体:国)

設置期間:2018年8月11日~10月16日

- 並行する須走道路、御殿場バイパス (西区間) を整備中の区間であり、完成まで数年であるため短期的な対策として発進遅れ対策を実施。
- 上り勾配で発進が緩慢となる上り車線停止線付近において、路側に発進遅れ抑止案内看板を設置し、スムーズな発進を促すことで、交差点での交通処理能力を向上させた。
- 対策実施後も観光期の交通需要が大きく、依然として渋滞が発生している。

■ 発進遅れ防止案内看板 (イメージ)



■ 対策位置

静岡県小山町須走
国道138号 上り線



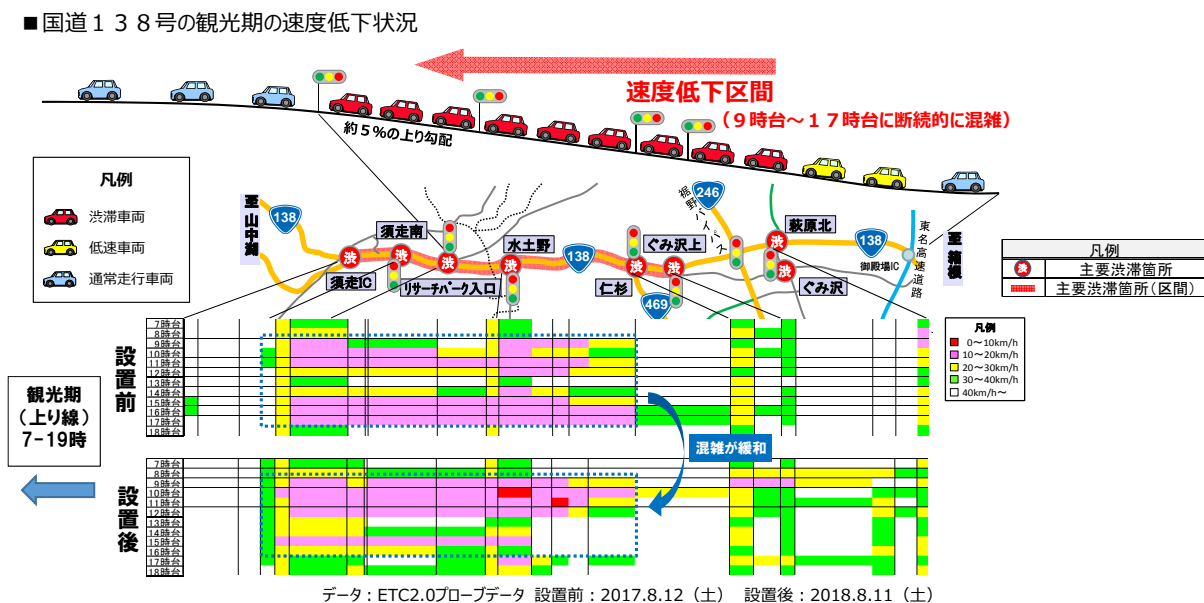
混雑緩和のため
スムーズな発進
にご協力を!

静岡県道路交通渋滞対策推進協議会
国土交通省 沼津河川国道事務所

発進遅れ防止案内看板

ドライバーにスムーズな
発進を意識してもらうこと
で、交差点流入における
発進遅れを緩和させ、
車頭間隔短縮による交
差点流入台数を増加させ
る。

≪交通の現状(旅行速度変動)≫



① 交差点直前に設置した看板



② 交差点手前に設置した看板



2. 今年度実施の主な取り組み

2-4 東部地域の主な取り組み

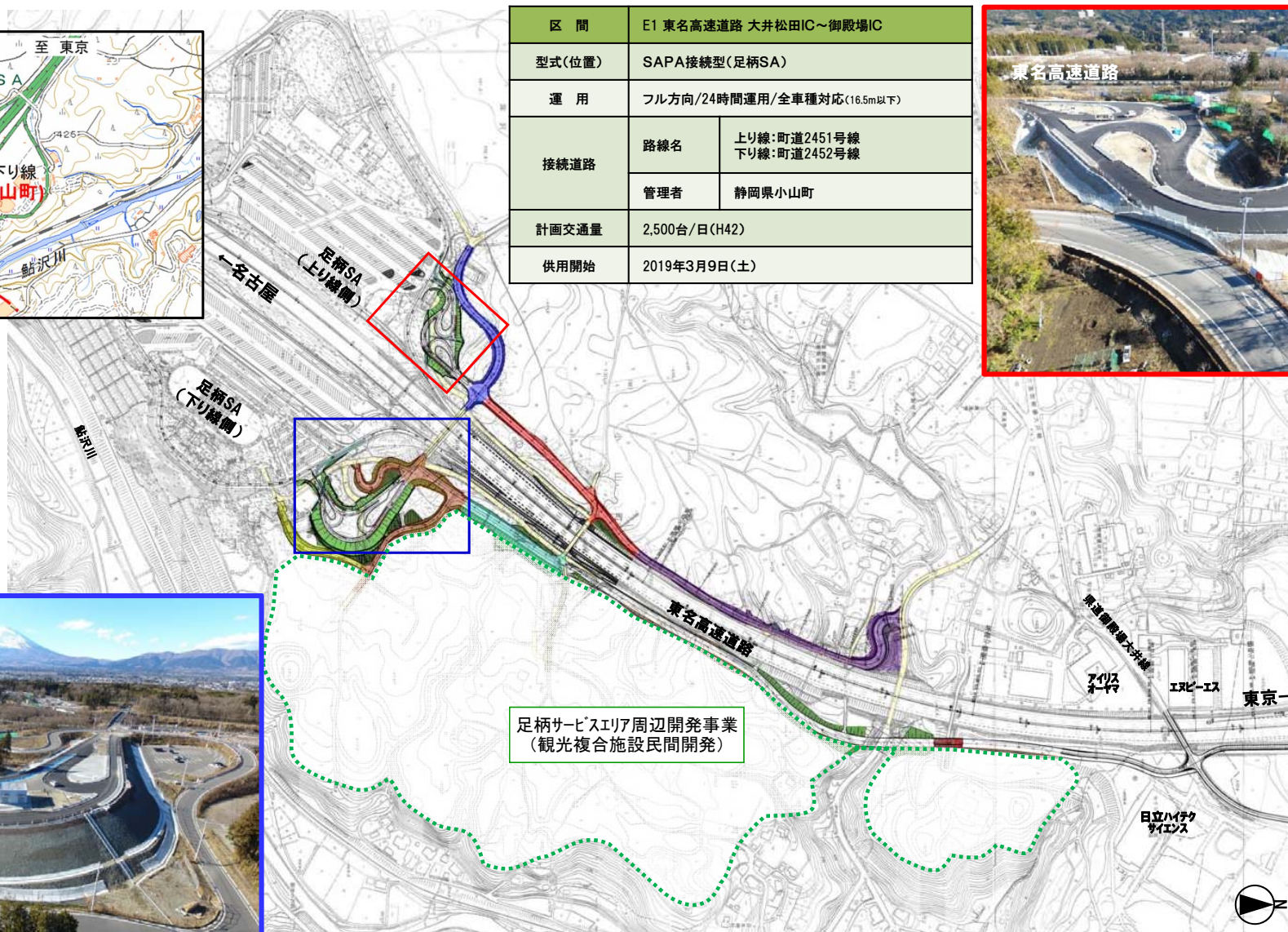
(6) 足柄スマートICの設置[スマートIC整備] (実施主体:小山町)

- 2016.5.27に新規事業化。2019年3月9日(土)に開通予定。
- 足柄スマートICの整備により、一般道の渋滞を迂回して高速道路にアクセスが可能となり、小山町及び御殿場市における高速道路の利便性向上が図られる。
- 新たな観光施設整備に伴う御殿場IC及び周辺道路への交通負荷を軽減。

■ 位置図



区 間	E1 東名高速道路 大井松田IC～御殿場IC	
型式(位置)	SAPA接続型(足柄SA)	
運 用	フル方向/24時間運用/全車種対応(16.5m以下)	
接続道路	路線名	上り線:町道2451号線 下り線:町道2452号線
	管理者	静岡県小山町
計画交通量	2,500台/日(H42)	
供用開始	2019年3月9日(土)	



3. 来年度の主な取り組み予定

3. 来年度の主な取り組み予定

3-1 各関係機関で進める取組み一覧

(1) 西部地域

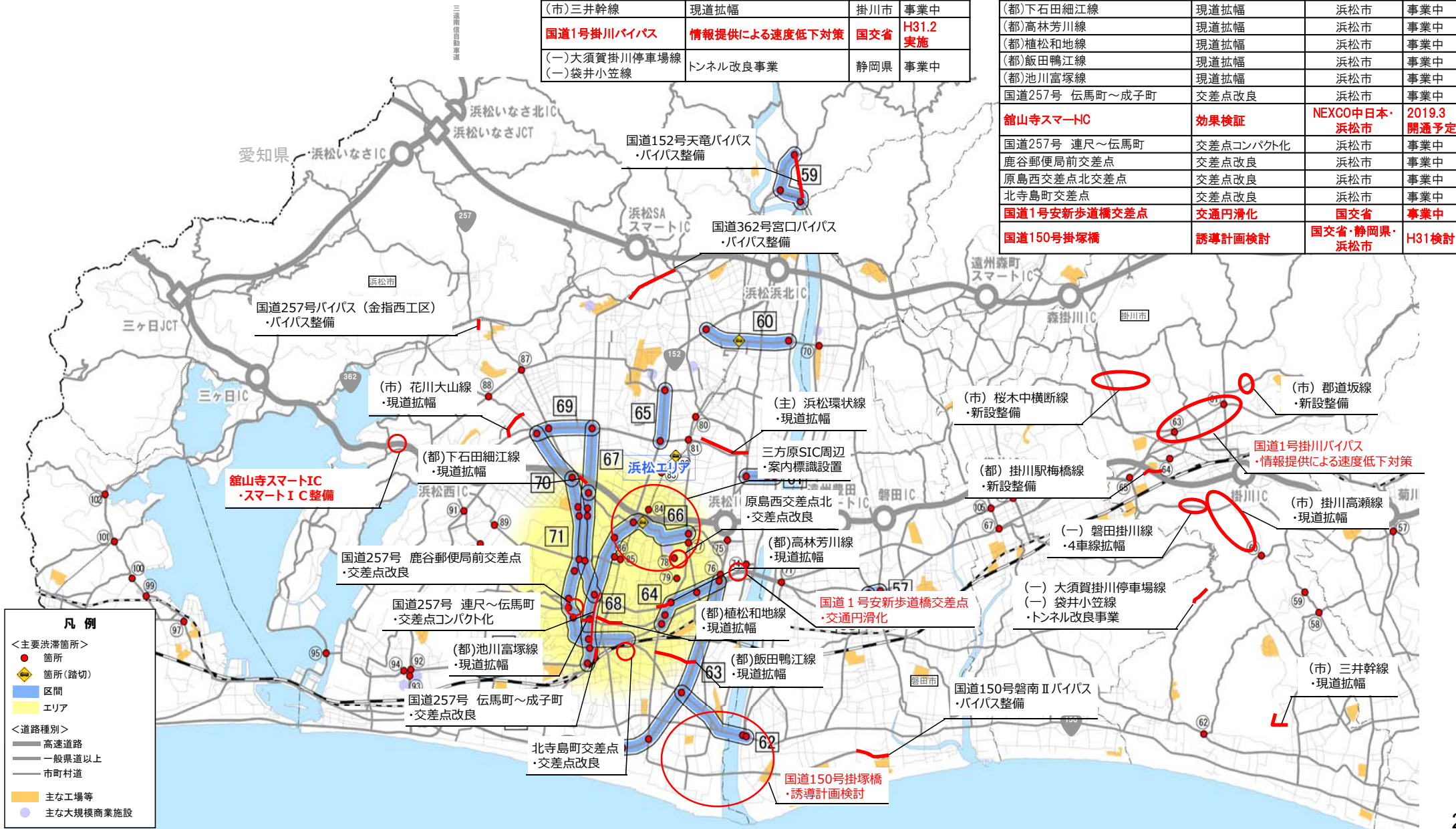
赤字：平成31年度に完了・検討予定の対策

■中東遠地区で進める取組み

箇所	実施施策	実施主体	検討状況
(都)掛川駅梅橋線	新設整備	掛川市	事業中
(市)桜木中横断線	新設整備	掛川市	事業中
(市)郡道坂線	新設整備	掛川市	事業中
(一)磐田掛川線	4車線拡幅	静岡県	事業中
(市)掛川高瀬線	現道拡幅	掛川市	事業中
(市)三井幹線	現道拡幅	掛川市	事業中
国道1号掛川バイパス	情報提供による速度低下対策	国交省	H31.2実施
(一)大須賀掛川停車場線	トンネル改良事業	静岡県	事業中
(一)袋井小笠線			

■浜松エリアで進める取組み

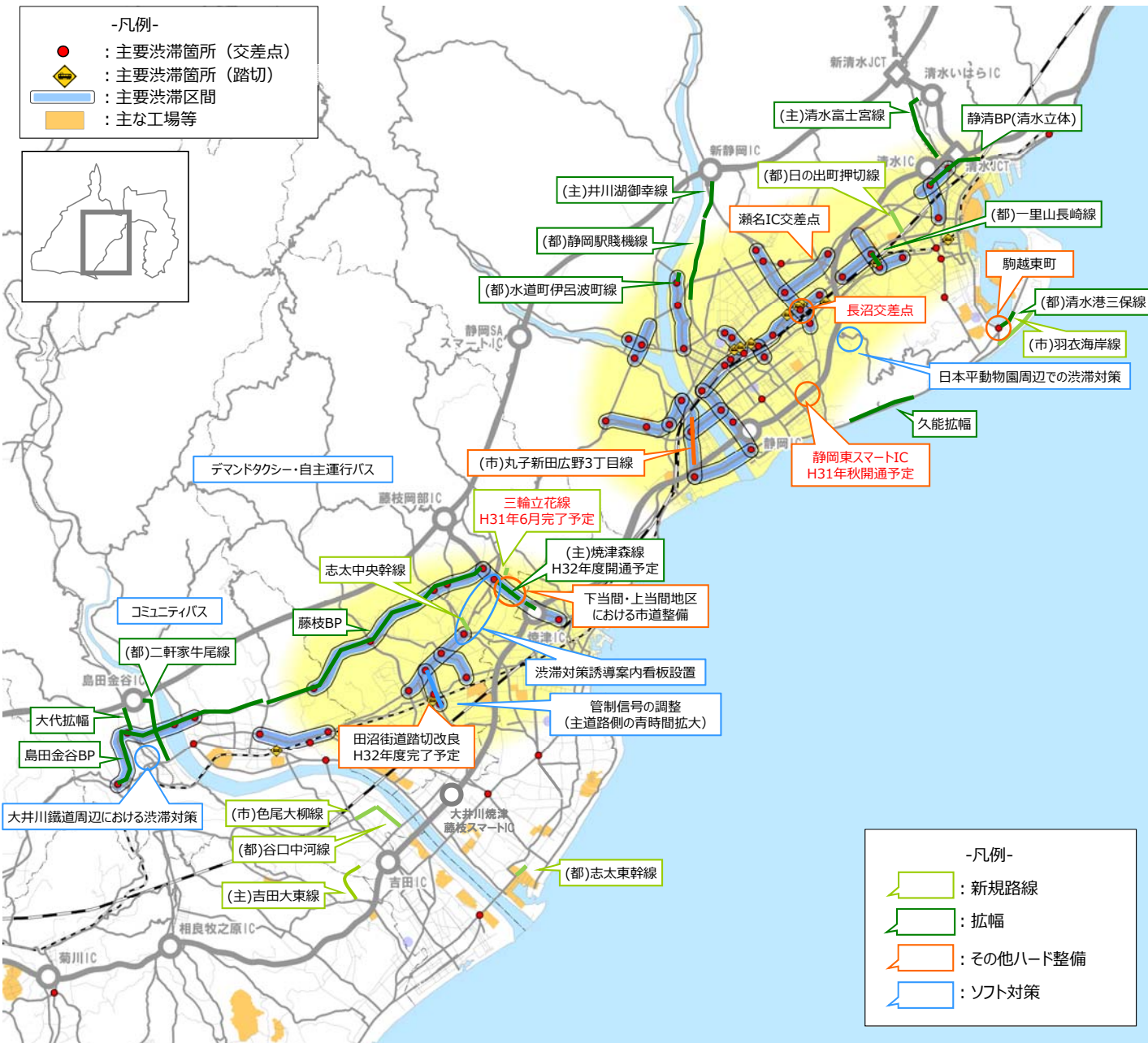
箇所	実施施策	実施主体	検討状況
国道152号天竜バイパス	バイパス整備	浜松市	事業中
国道362号宮口バイパス	バイパス整備	浜松市	事業中
国道257号バイパス(金指西工区)	バイパス整備	浜松市	事業中
国道150号磐南IIバイパス	バイパス整備	静岡県	事業中
(市)花川大山線	現道拡幅	浜松市	事業中
(主)浜松環状線	現道拡幅	浜松市	事業中
(都)下石田細江線	現道拡幅	浜松市	事業中
(都)高林芳川線	現道拡幅	浜松市	事業中
(都)植松和地線	現道拡幅	浜松市	事業中
(都)飯田鴨江線	現道拡幅	浜松市	事業中
(都)池川富塚線	現道拡幅	浜松市	事業中
国道257号 伝馬町～成子町	交差点改良	浜松市	事業中
館山寺スマートIC	効果検証	NEXCO中日本・浜松市	2019.3開通予定
国道257号 連尺～伝馬町	交差点コンパクト化	浜松市	事業中
鹿谷郵便局前交差点	交差点改良	浜松市	事業中
原島西交差点北交差点	交差点改良	浜松市	事業中
北寺島町交差点	交差点改良	浜松市	事業中
国道1号安新歩道橋交差点	交通円滑化	国交省	事業中
国道150号掛塚橋	誘導計画検討	国交省・静岡県・浜松市	H31検討



3. 来年度の主な取り組み予定

3-1 各関係機関で進める取組み一覧 (2) 中部地域

■ 静岡エリア、藤枝・焼津・島田エリア



■ 静岡エリアで進める取組み

	対策	実施主体
路新 線規	(都)日の出町押切線	静岡市
	(市)羽衣海岸線	静岡市
拡 幅	国道1号静岡BP (清水立体)	国交省
	国道150号久能拡幅	静岡市
	(主)清水富士宮線	静岡市
	(主)井川湖御幸線	静岡市
	(都)静岡駅賤機線	静岡市
	(都)一里山長崎線	静岡市
ハ ー ド そ の 他 整 備	(都)水道町伊呂波町線	静岡市
	(都)清水港三保線	静岡市
	静岡東スマートIC <H31年秋>	NEXCO中日本 静岡市
	国道150号 (駒越東町)	静岡市
	(市)丸子新田広野3丁目線	静岡市
ソ フ ト 対 策	静岡バイパス 瀬名IC交差点	静岡国道
	(主)山脇大谷線 長沼交差点	静岡市
	日本平動物園周辺での渋滞対策 (継続実施)	静岡市

■ 藤枝・焼津・島田エリアで進める取組み

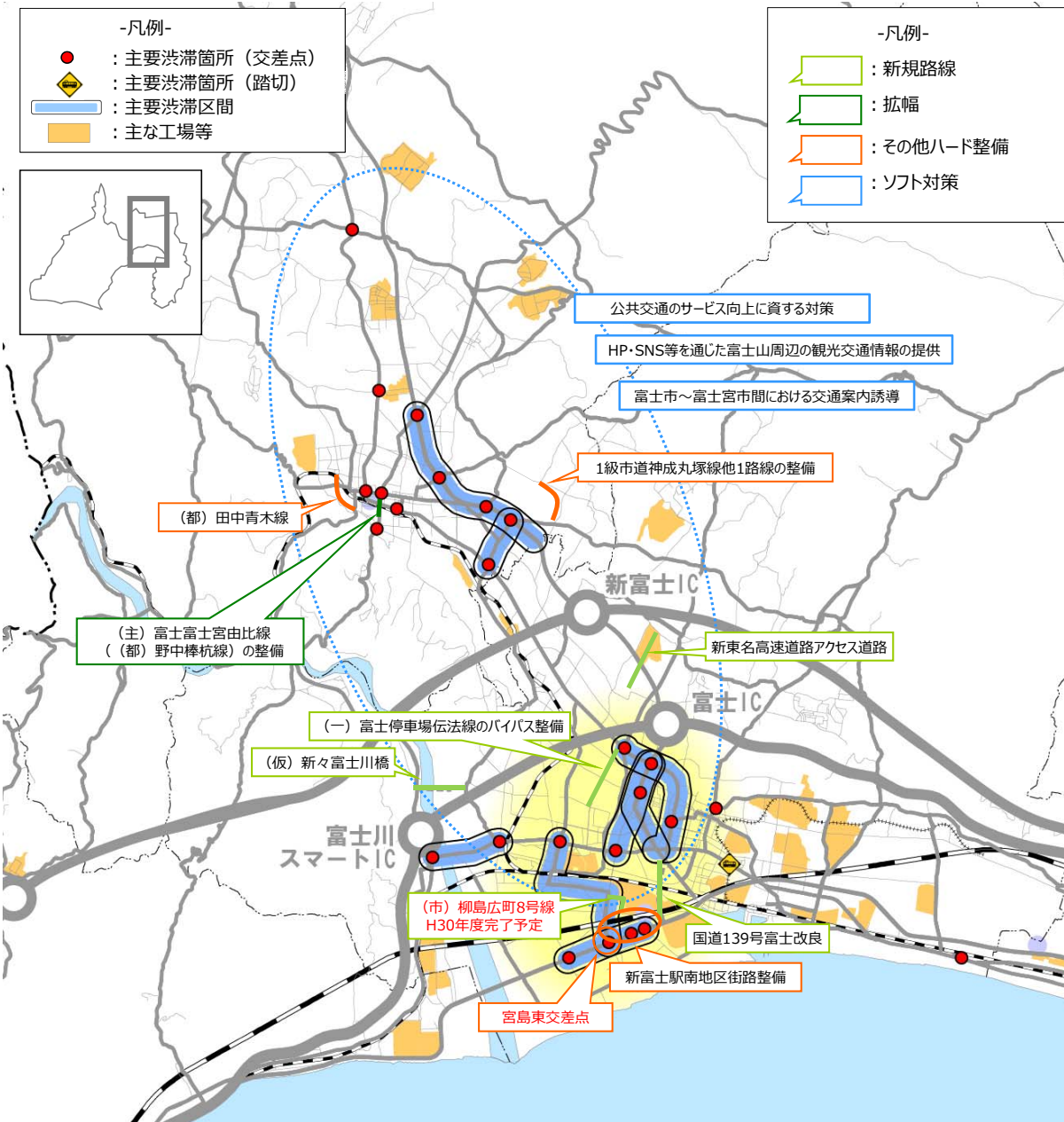
	対策	実施主体
新 規 路 線	志太中央幹線	静岡県
	(都)志太東幹線	静岡県
	(主)吉田大東線	静岡県
	(市)色尾大柳線	島田市
	(都)谷口中河線	島田市
拡 幅	三輪立花線 <H31年6月完了予定>	藤枝市
	国道1号藤枝BP	国交省
	国道1号島田金谷BP	国交省
	国道473号大代拡幅	静岡県
ハ ー ド そ の 他 整 備	(主)焼津森線 <H32年度開通予定>	静岡県
	(都)二軒家牛尾線	島田市
ソ フ ト 対 策	下当間・上当間地区における市道整備	藤枝市
	田沼街道踏切改良 <H32年度完了予定>	藤枝市
	SL看板・LED表示板等による情報提供 (継続実施)	国交省
	管制信号の調整 (主道路側の青時間拡大)	公安委員会
	コミュニティバス (継続実施)	島田市
	大井川鉄道周辺における渋滞対策 (継続実施)	島田市
	デマンドタクシー・自主運行バス (継続実施)	藤枝市
	渋滞対策誘導案内看板設置 (継続実施)	藤枝市
	自主運行バス (継続実施)	焼津市

3. 来年度の主な取り組み予定

3-1 各関係機関で進める取組み一覧 (2) 中部地域

■ 富士エリア、富士宮地区

赤字：H31年度までに完了予定の対策



■ 富士エリアで進める取組み

	対策	実施主体
新規路線	国道139号富士改良	国交省
	(仮) 新々富士川橋	静岡県
	(一) 富士停車場伝法線のバイパス整備	静岡県
	新東名高速道路アクセス道路	富士市
	(市) 柳島広町8号線<H30年3月末全線開通予定>	富士市
ハードその他	国道1号富士由比BP宮島東交差点の改良<今年度工事着手予定>	国交省
	新富士駅南地区街路整備	富士市
ソフト対策	富士市～富士宮市間における交通案内誘導 (継続実施)	国交省
	HP・SNS等を通じた富士山周辺の観光交通情報の提供 (継続実施)	国交省 静岡県等
	公共交通のサービス向上に資する対策 (コミュニティ交通の運行、公共交通走行空間の整備、利用促進等)	富士市

■ 富士宮地区で進める取組み

	対策	実施主体
ハードその他	(主) 富士富士宮由比線 ((都)野中棒杭線) の整備	静岡県
	1級市道神成丸塚線他1路線の整備	富士宮市
	(都) 田中青木線	富士宮市
ソフト対策	富士市～富士宮市間における交通案内誘導 (継続実施)	国交省
	HP・SNS等を通じた富士山周辺の観光交通情報の提供 (継続実施)	国交省 静岡県等
	公共交通のサービス向上に資する対策 (コミュニティ交通の運行等)	富士宮市

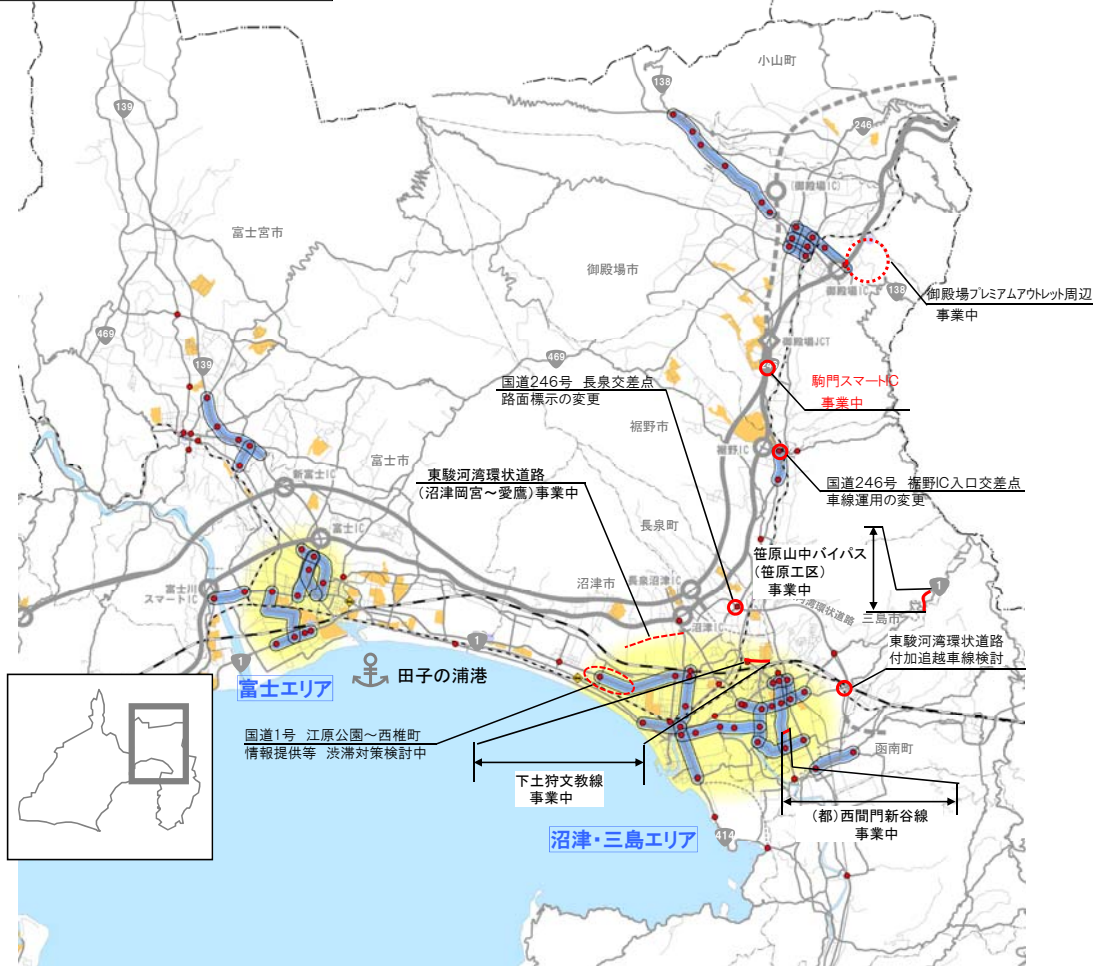
3. 来年度の主な取り組み予定

(3) 東部地域

◆ 沼津・三島エリア、御殿場地区、裾野地区

赤字：H31年度までに完了予定の対策

- 凡例-
- : 主要渋滞箇所 (交差点)
 - ◆ : 主要渋滞箇所 (踏切)
 - : 主要渋滞区間
 - : 主な工場等



◆ 伊豆地区



道路整備等

箇所	実施施策	実施主体	検討状況
東駿河湾環状道路 沼津岡宮～愛鷹	新規路線整備	国交省	検討中
笹原山中バイパス	新規路線整備	国交省	事業中
東駿河湾環状道路 三島玉沢～大場・函南	付加追越車線設置	国交省	検討中
(都)下土狩文教線	拡幅	三島市	事業中
(都)西間門新谷線	拡幅	清水町	事業中
伊豆中央道 江間交差点	交差点立体化	静岡県、県道路公社	事業中
須走道路・御殿場バイパス(西区間)	新規路線整備	国交省	事業中
駒門スマートIC	スマートIC設置	御殿場市	事業中

総合対策等

箇所	実施施策	実施主体	検討状況
国道1号 江原公園交差点～西椎町交差点間	愛鷹スマートICへの迂回誘導・案内	国交省	検討中
国道246号 長泉交差点	路面標示の変更	国交省	検討中
国道246号 裾野IC入口交差点	車線運用の変更	国交省	検討中
東駿河湾環状道路	時間・経路分散対策(チャランの配付)	国交省	検討中
国道136号バイパス	サグ部 速度低下対策	静岡県	検討中
伊豆スカイライン	河津桜まつり開催期間中の料金割引	静岡県、県道路公社	検討中
国道136号韮山反射炉入口交差点周辺	経路分散による渋滞対策	静岡県、伊豆の国市	事業中
御殿場プレミアムアウトレット周辺	事業者負担による渋滞対策	三菱地所・サイモン(株) (御殿場プレミアムアウトレット)、 御殿場市	事業中

3. 来年度の主な取り組み予定

3-2 西部地域の主な取り組み

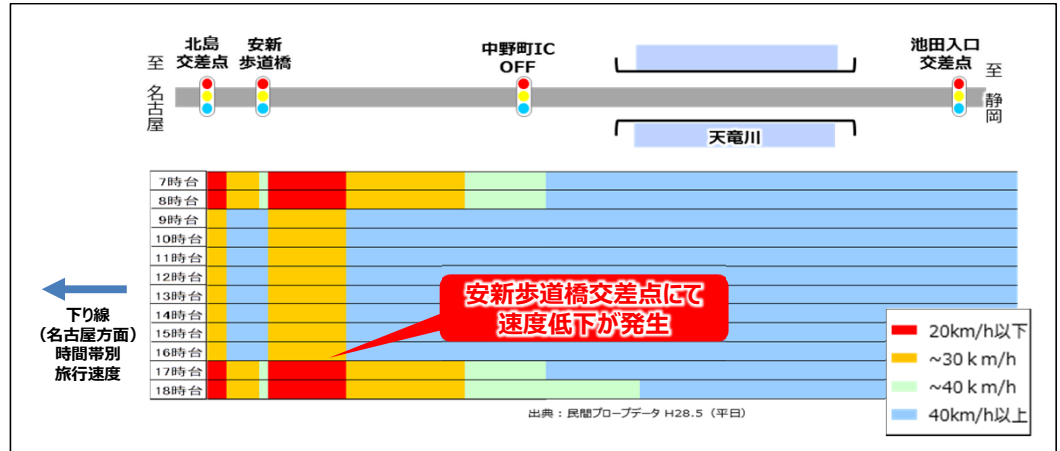
(1) 安新歩道橋交差点交通円滑化事業(実施主体:国交省)

- 安新歩道橋交差点では、国道1号浜松バイパスにアクセスする車両による渋滞が発生。
- 安新歩道橋交差点部で速度低下や衝突事故等による安全性の低下が課題。
- 平成30年より事業着手（調査設計を実施）、今後は関係機関協議を進めていく。

■ 対策位置

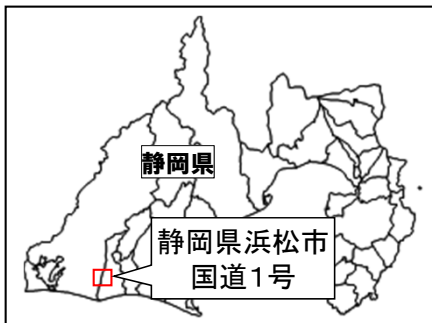
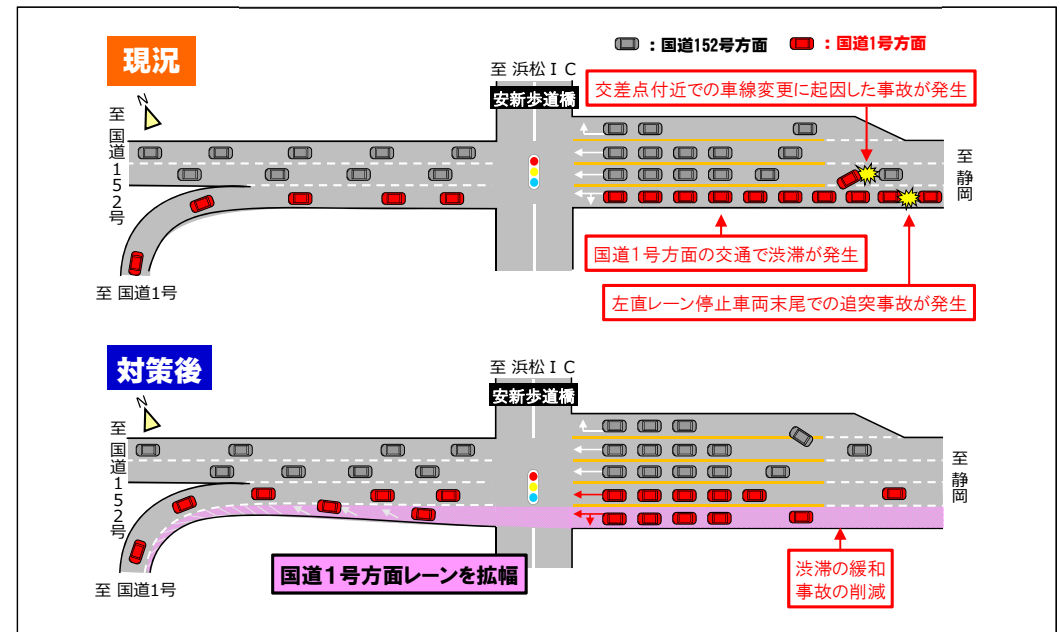


■ 現状の交通課題（速度状況）



■ 対策イメージ

※対策後の形状は現時点での設計案であり、今後関係機関協議を実施していく。



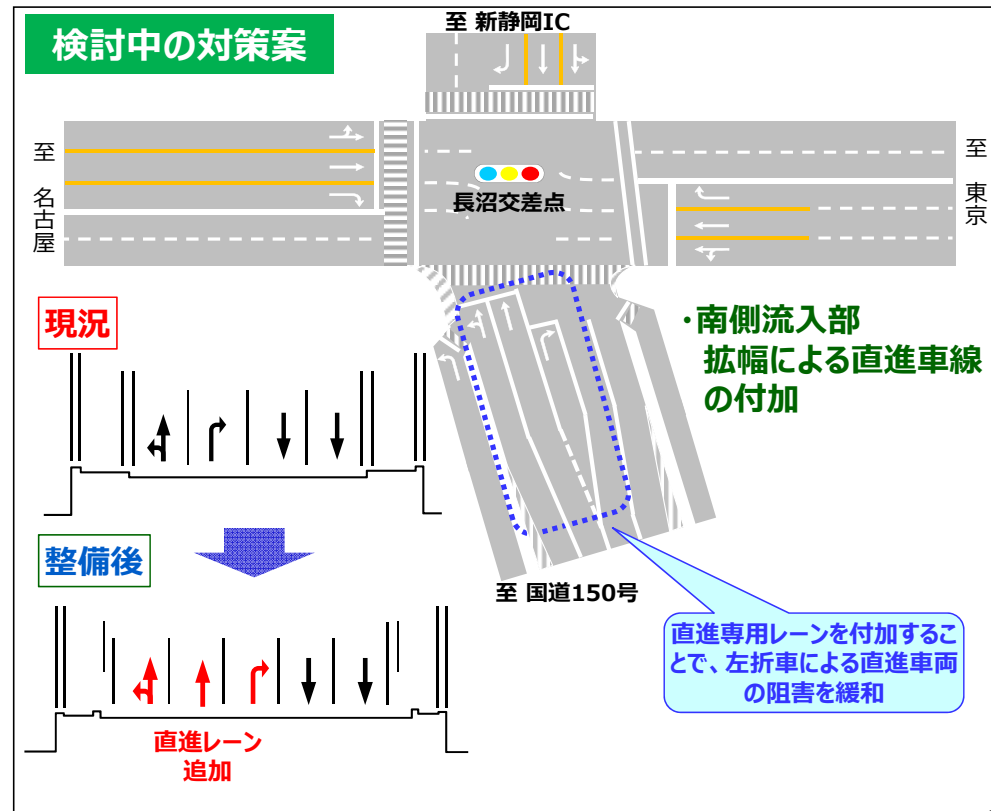
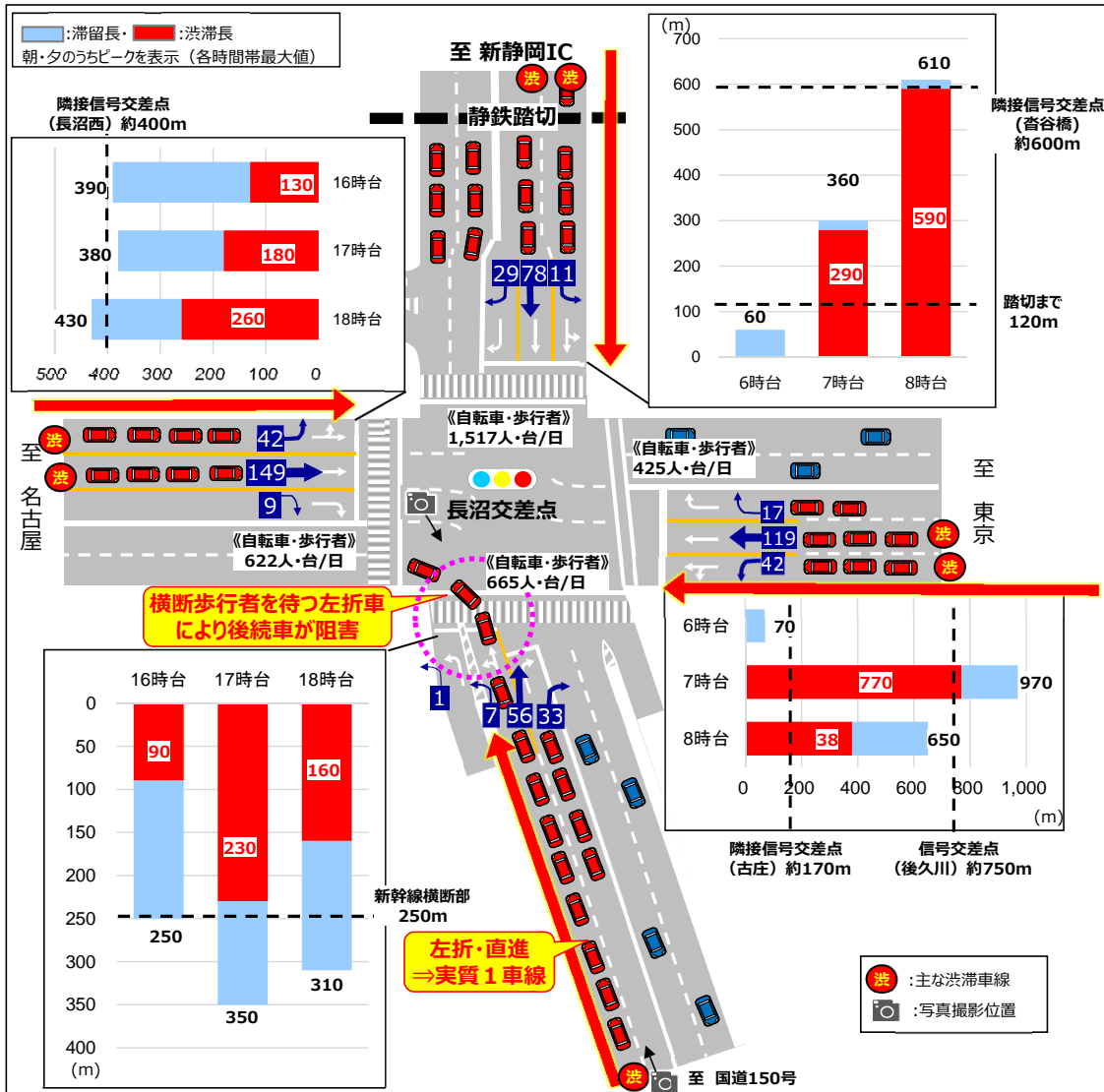
3. 来年度の主な取り組み予定

3-3 中部地域の主な取り組み

(1) 長沼交差点 (実施主体: 静岡市・国)

- 長沼交差点は、国道1号・(主)山脇大谷線ともに朝・夕ピーク時だけでなく、日中を通じて激しい渋滞が発生。
- 南側流入部については、「左直」・「右折」であり、踏み切りによる先詰まりだけでなく、横断歩道通行者を待つ左折車により、後続直進車を阻害し、左折車線に偏在した渋滞が顕著。
- そこで、既存用地内での“道路を賢く使う”観点から、用地内での対策として、南側流入部拡幅による直進車線の付加を検討中。

■ 長沼交差点の交通状況

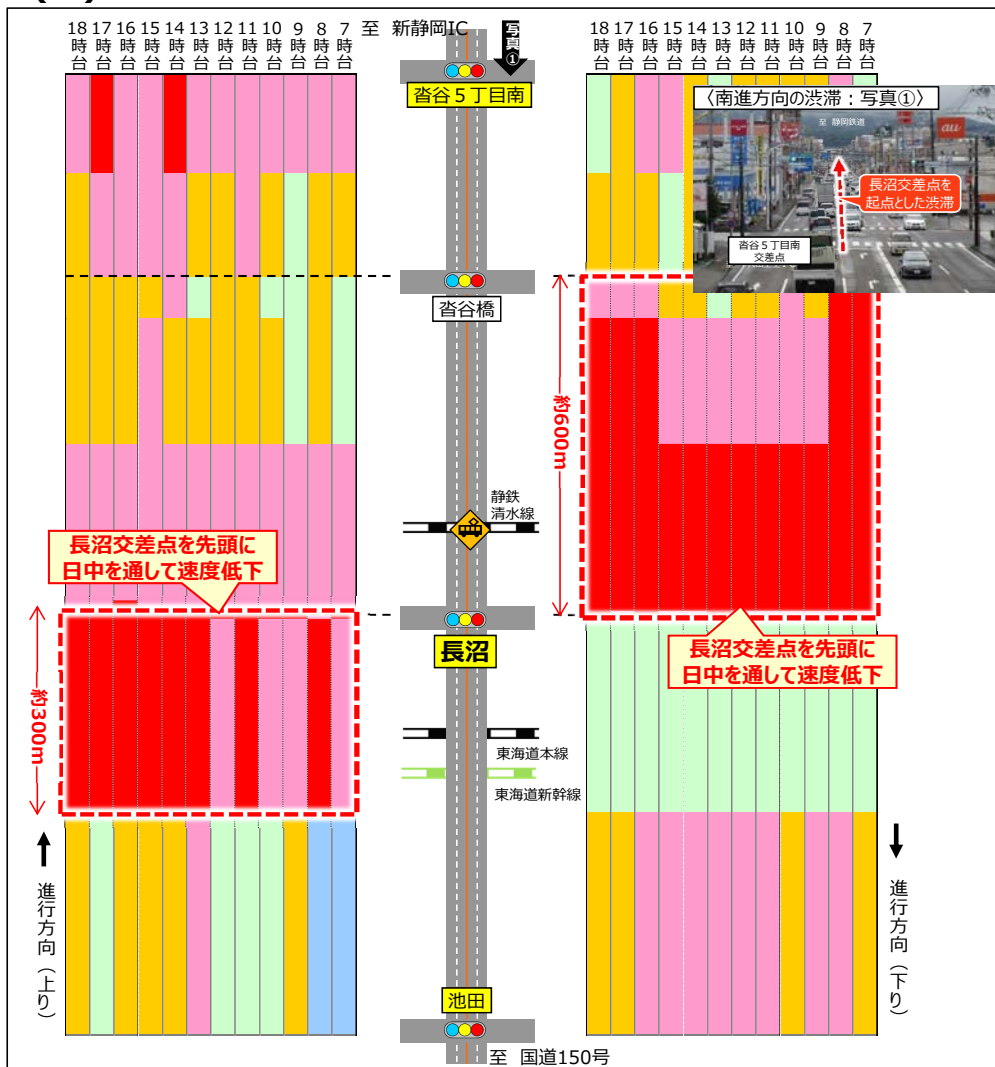


3. 来年度の主な取り組み予定

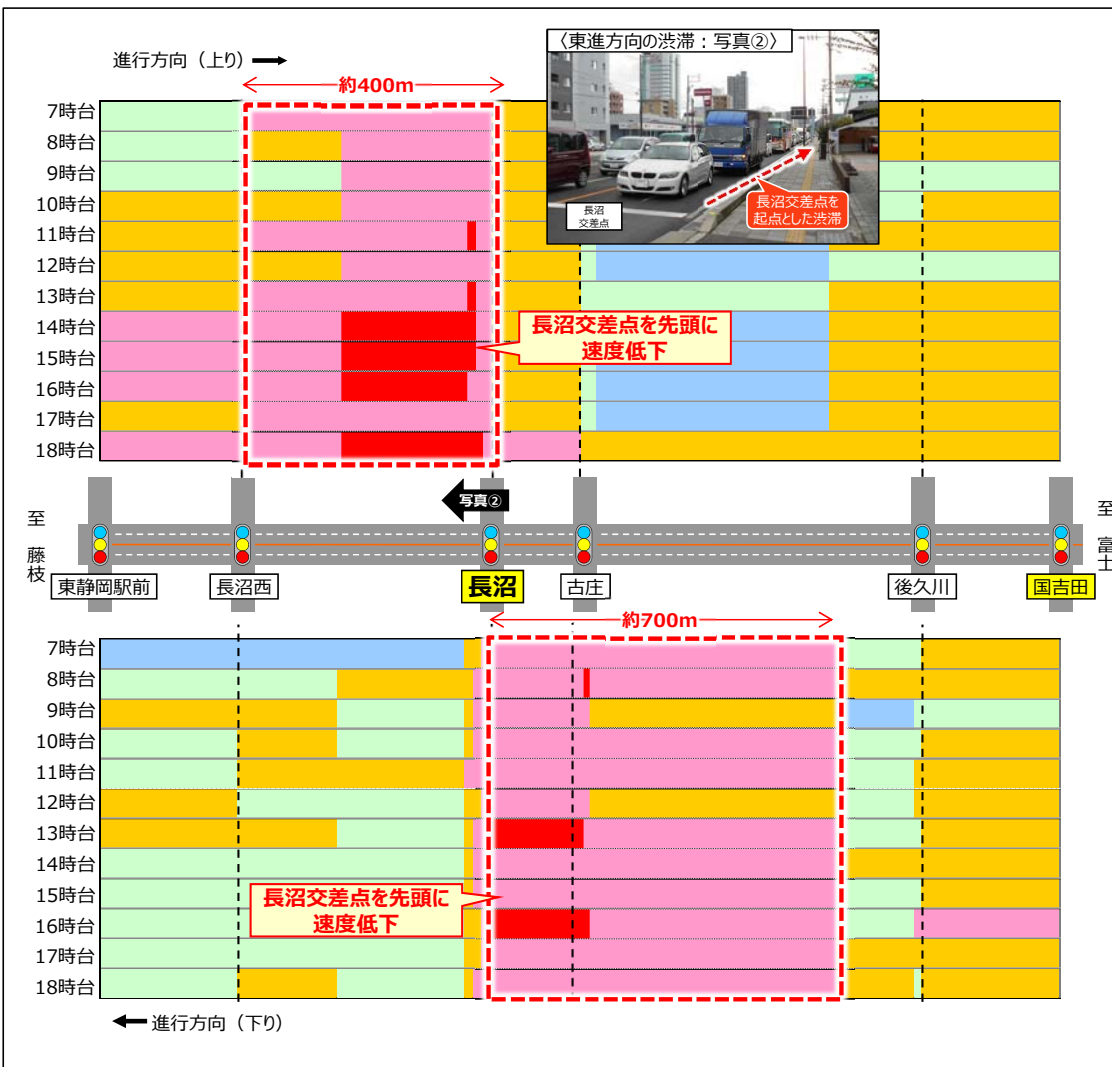
参考) 長沼交差点の前後区間の旅行速度状況

- 山脇大谷線では、長沼交差点を先頭に上下線ともに日中を通して速度低下が発生しており、南進方向（下り）では静岡鉄道の踏切もボトルネックとなり沓谷橋交差点付近まで渋滞が発生。
- 国道1号現道側においても、長沼交差点を先頭に上りで約400m、下りで約700mの速度低下が発生。

○(主)山脇大谷線（沓谷5南～池田交差点間）



○国道1号現道（東静岡駅前～国吉田交差点間）



(交差点名) : 主要渋滞箇所
■ : 10km/時未満
■ : 10km/時～20km/時
■ : 20km/時～30km/時
■ : 30km/時～40km/時
■ : 40km/時以上

出典：ETC2.0データ（H30.12.23～28間及びH31.1.7～15間の平日）
 ※静岡BP丸子IC～牧ヶ谷4車線化後データ
 ※DRM区間別データ

3. 来年度の主な取り組み予定

3-4 東部地域の主な取り組み

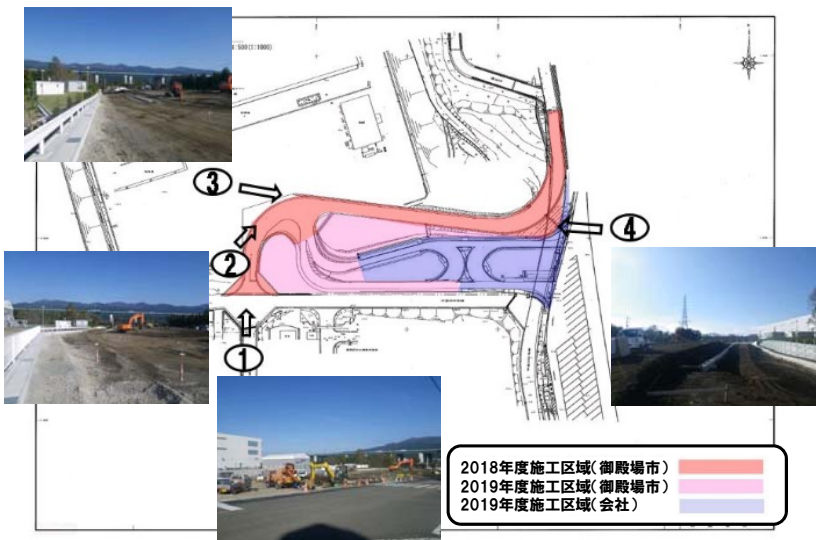
(1) 駒門スマートICの設置[スマートIC整備] (実施主体:御殿場市)

- 2016.5.27に新規事業化。2020年3月末に開通予定。
- 「工業団地直結のスマートIC」により、高速道路までのアクセス時間が短縮され、企業活動・物流の効率化が期待できる。
- 内陸フロンティア推進区域に指定された「板妻南工業団地」への企業誘致促進に繋がる。
- 利便性向上により、工業地域への企業誘致促進や雇用拡大など地域産業の活性化が期待できる。

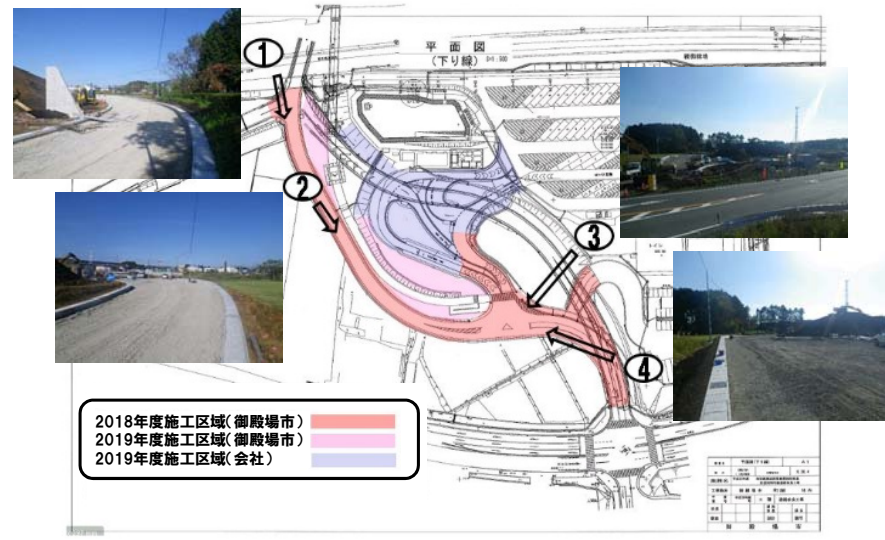
■ 位置図



(仮称)駒門スマートインターチェンジ上り線工事状況



(仮称)駒門スマートインターチェンジ下り線工事状況



概要

- **運用形態**
フルインター形式
24時間
- **対応車種**
ETC車載器を搭載した下記の車種
(軽自動車等、普通車、中型車、大型車、特大車)
* 通行可の対象車長: L = 16.5m以下
- **計画交通量** 2030推計
1900台/日
- **事業期間**
2016年度~2019年度
- **供用開始** 予定
2019年度 3月末

東名高速道路 (仮称)駒門スマートインターチェンジ上り線完成予想図



東名高速道路 (仮称)駒門スマートインターチェンジ下り線完成予想図



4. 県全体の交通状況・トピック等

4. 県全体の交通状況・トピックス等

4-1 静岡県内の渋滞ワーストランキング（基本交差点別損失時間）

- 損失時間の大きい交差点は、沼津市、富士市、静岡市、浜松市など東西軸に沿って分布している。
- 市町村別には、浜松市、静岡市、沼津市などで多い。

凡例

<主要渋滞箇所>

- 箇所
- ◆ 箇所(踏切)
- 区間
- エリア

<道路種別>

- 高規格幹線道路
- 直轄国道
- 補助国道
- 主要地方道
- 一般県道
- 市町村道

■ 主な工場等

● 主な大規模商業施設

■ a. 交差点別損失時間ワースト10（年間）

順位	市区町村	交差点名	損失時間 [万人時間/年]
1	沼津市	江原公園	130
2	富士市	宮島東	128
3	静岡市清水区	庵原	122
4	静岡市駿河区	池田	94
5	浜松市中区	中沢町	88
6	沼津市	西椎路	86
7	浜松市中区	連尺	84
8	富士宮市	登山道入口	83
9	静岡市清水区	駒越東町	83
10	浜松市北区	赤松坂	82

■ c. 交差点別損失時間ワースト10（車線当り）

順位	市区町村	交差点名	損失時間 [万人時間/年・車線]
1	静岡市清水区	庵原	53.5
2	静岡市清水区	駒越東町	50.2
3	富士市	宮島東	43.0
4	沼津市	江原公園	32.9
5	三島市	谷田	31.8
6	沼津市	西間門	31.3
7	富士宮市	本門寺入口	30.0
8	三島市	大社町西	28.7
9	浜松市中区	和合町	28.2
10	富士市	和田町	26.0

※最も低い方向の速度が20km/h以下となる交差点

■ b. 交差点別損失時間ワースト10（ピーク時）

順位	市区町村	交差点名	損失時間 [人時間/h(日)]
1	沼津市	江原公園	445
2	浜松市中区	中沢町	430
3	静岡市清水区	庵原	392
4	沼津市	共栄町	372
5	浜松市北区	赤松坂	372
6	富士市	宮島東	357
7	浜松市中区	連尺	306
8	浜松市中区	一里塚橋	297
9	静岡市清水区	駒越東町	296
10	静岡市清水区	清水I.C西	289



※交差点名の凡例は、a, b, cの順に着色。

4. 県全体の交通状況・トピックス等

4-2 ETC2.0データの特徴と活用事例

(1) ETC2.0データの概要

- 「ETC2.0プローブ情報」は、ETC2.0対応の車載機及びカーナビ装着車両との路車間通信にて得られるデータであり、ETC2.0セットアップ件数は、3年半で約5.2倍、昨年に比べ、1.3倍と増加傾向にあり、データ取得量の向上が見込まれる。
- ETC2.0プローブ情報を活用することで、常時データ収集が可能となっただけでなく、道路交通の課題や効果把握において多様な分析が可能になる。

■ ETC2.0プローブ情報とは

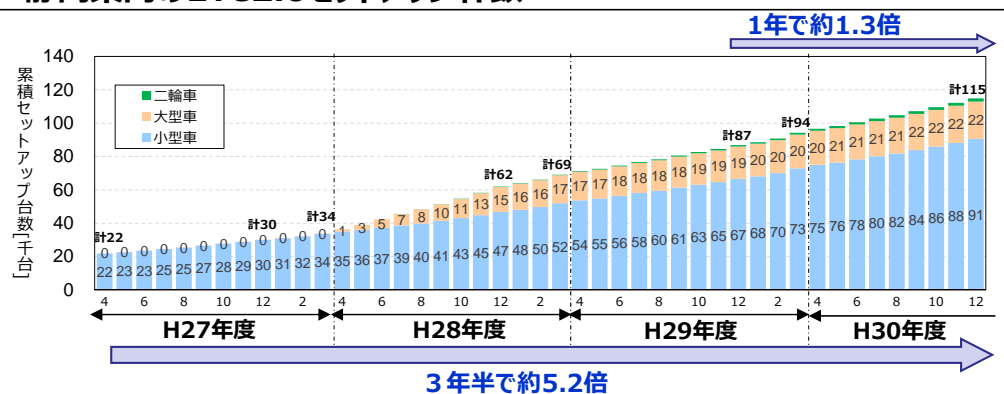
《ETC2.0プローブ情報の収集》



《データの特徴》

多量のデータ ・車両の走行とともに蓄積される多量のデータ ・24時間365日、常時観測	多様なデータ ・走行履歴、挙動履歴などの車両走行の基礎的なデータ ・多様な分析への応用が可能	多頻度のデータ ・多頻度で車両にデータ蓄積 ・路側機の通過ごとにデータを一括収集	正確なデータ ・走行車両の実測データ ・多量なデータによる正確性や真実性を担保
--	---	---	--

■ 静岡県内のETC2.0セットアップ件数



出典：ETC総合情報ポータルサイト

■ ETC2.0プローブ情報により出来ること

・ETC2.0プローブ情報を活用することで、「実査」によらず自動で道路のデータが収集できるようになった他、下記のようなことが可能に。

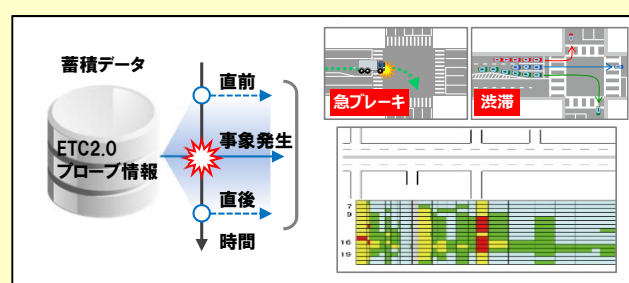
《以前》

- ・予め調査を計画していた箇所やセンサを設置した箇所でデータを収集。



《ETC2.0の普及により》

- ・突発事象の発生箇所など、いつの/どこの交通状況でも把握できるように。



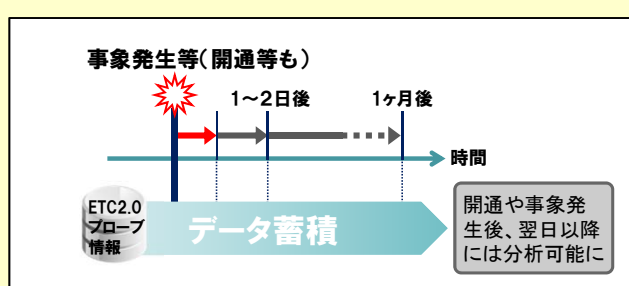
《以前》

- ・対策検討、対策効果把握を含む現況把握のためには、調査実施やデータ蓄積が必要。



《ETC2.0の普及により》

- ・常時のデータの収集・蓄積・集計で、早期の対策効果評価や現況把握が可能に。



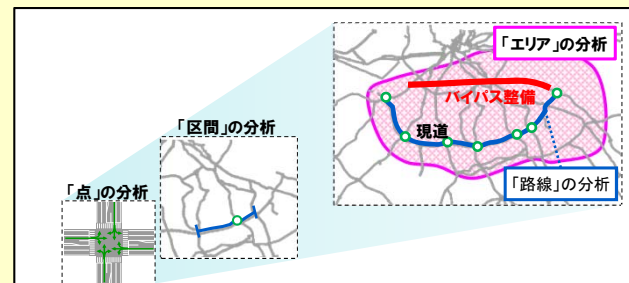
《以前》

- ・コストの制約から、限られた箇所・区間の調査を実施。



《ETC2.0の普及により》

- ・あらゆる場所のデータが蓄積され、目的に応じ、「点から線・面へと広範囲な分析」(地点～区間～路線～エリア)が可能に。

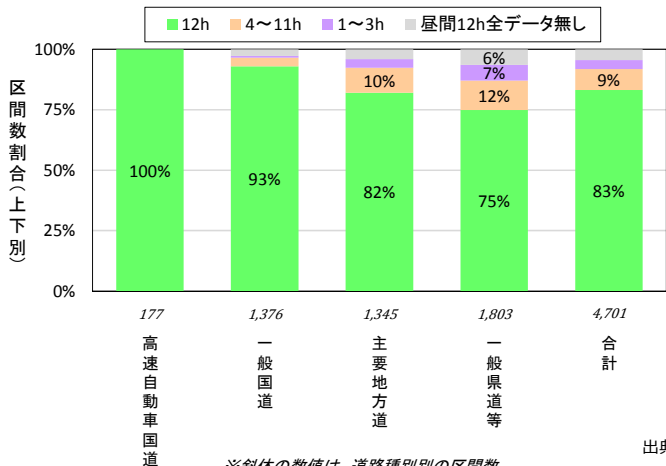
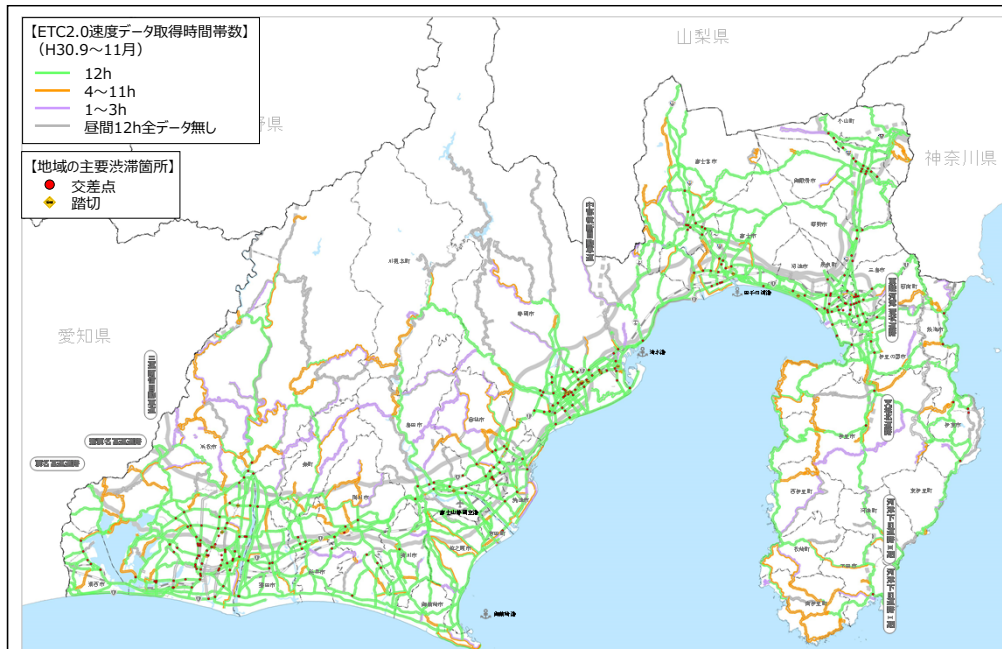


4. 県全体の交通状況・トピックス等

(2) 静岡県内のETC2.0データ取得状況

- 路線別・時間帯区別についてみると、高速系ではほぼ全区間、一般国道では約90%以上、主要地方道では約80%以上、一般県道等では約70%以上の区間で毎時間（昼間12時間）の旅行速度データが取得された。
- 路線の特徴として、通勤交通等の多い路線、観光交通の多い路線とも、概ね交通量に応じてデータ取得件数が変化している。

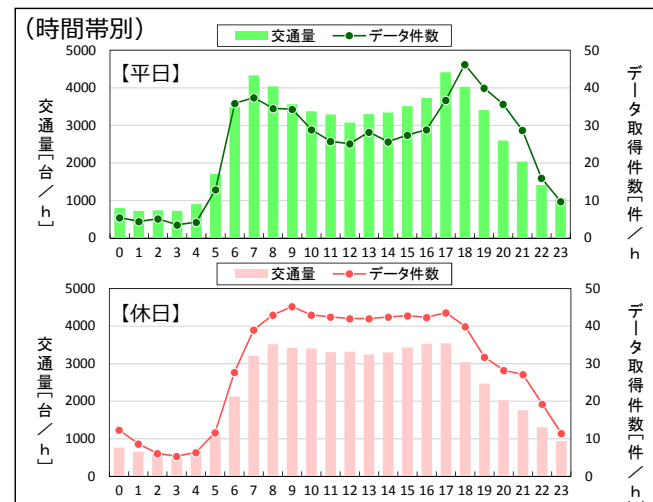
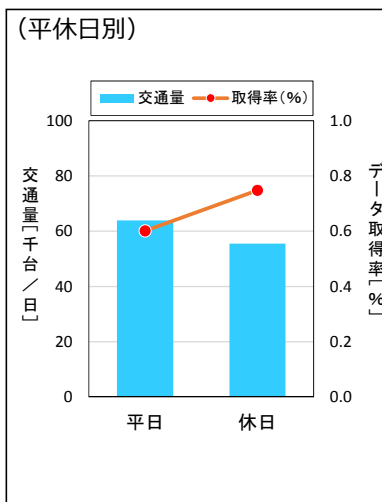
■ 路線別の取得状況（静岡県内）



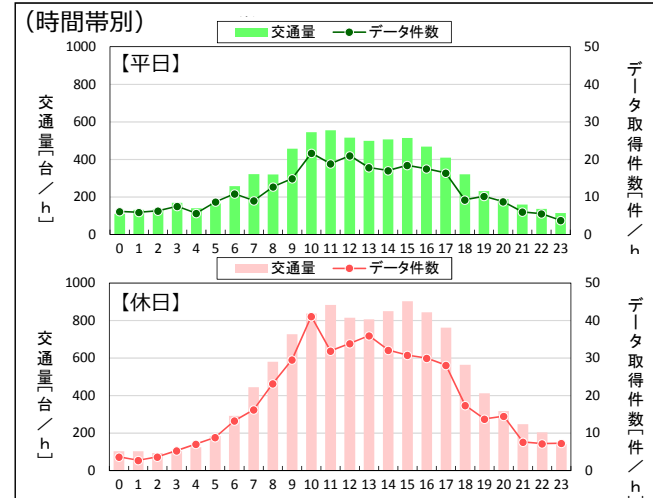
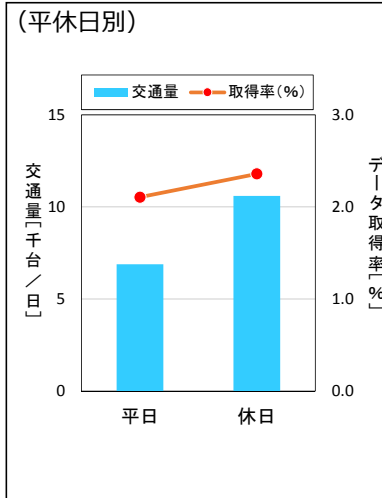
出典：ETC2.0データ
 ・H30.9~11月、平日、昼間12h

■ 路線の特徴とデータの取得状況

《通勤や日常交通の多い箇所（国道1号；大岩）》



《観光交通の多い箇所（国道139号；根原）》



※データ取得率…交通量に対するデータ取得件数

出典：常観トラコン（交通量）、データ取得件数（ETC2.0データ）、H30.10月平均

4. 県全体の交通状況・トピックス等

(3) 分析事例

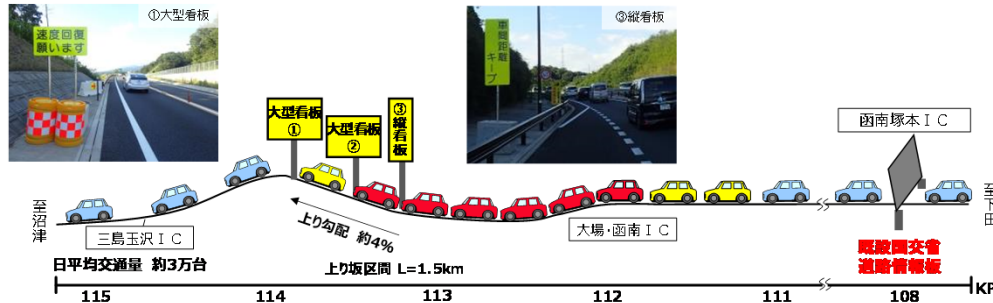
- ETC2.0プローブ情報を活用した分析では、『課題・要因分析』や『対策立案に向けた検証』、『開通効果』等、各種渋滞対策に活用している。
- セットアップ件数の増加に伴い、データが更に充実すると想定されるため、今後、渋滞対策の立案等に積極的に活用していく必要がある。

■ “課題分析⇒対策立案”へ活用した事例

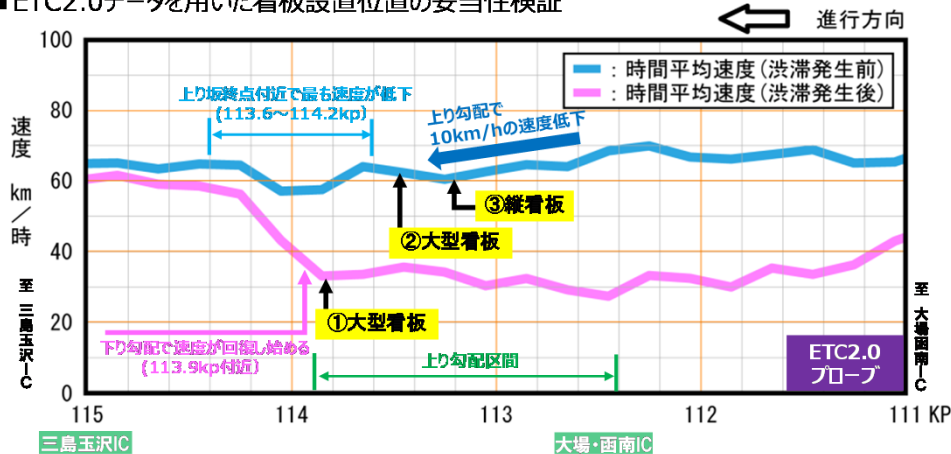
《東駿河湾環状道路 サグ部渋滞対策への活用例》

- ・ETC2.0プローブ情報を用いて、渋滞発生前の速度低下地点、渋滞発生後の渋滞先頭地点を把握し、大型看板等の設置位置を検討。

■ 対策内容

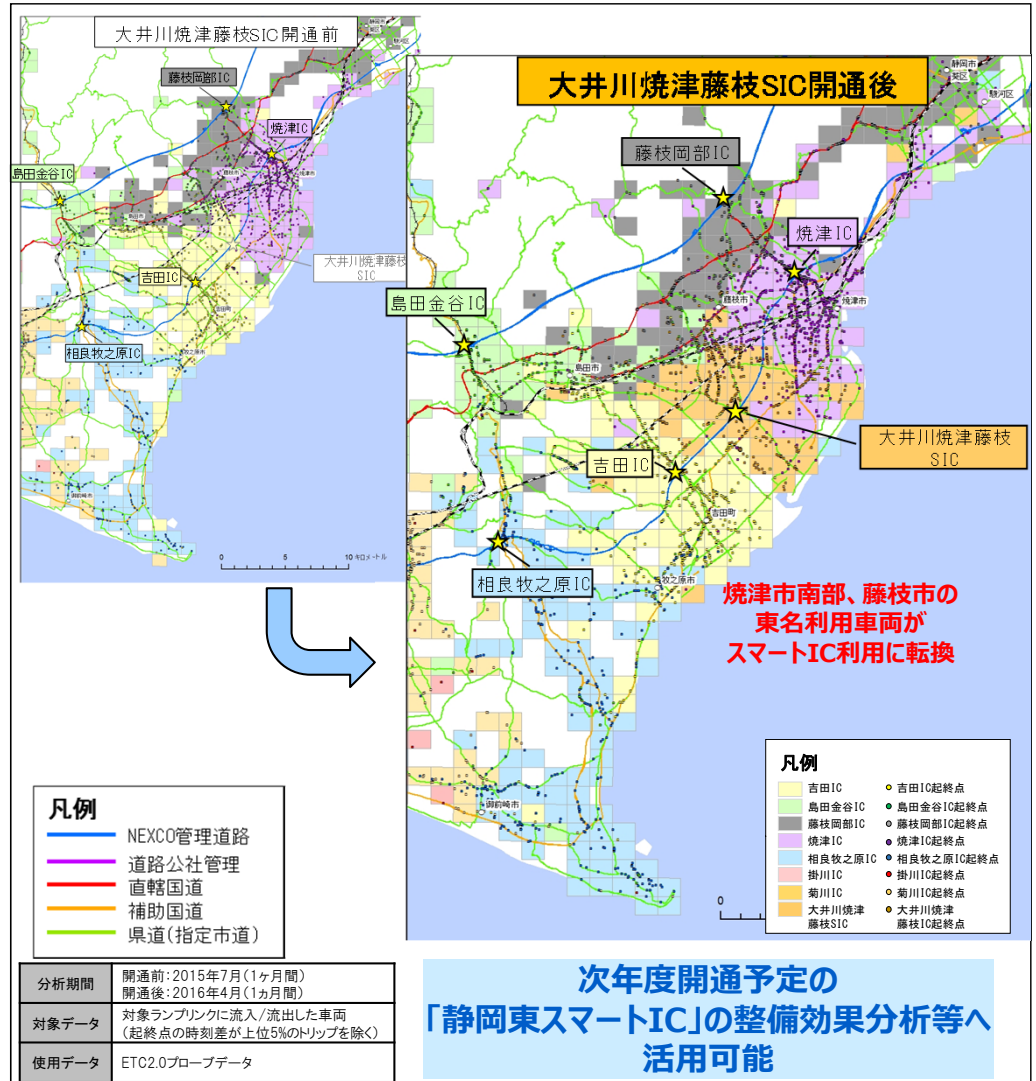


■ ETC2.0データを用いた看板設置位置の妥当性検証



出典：H29年度第1回静岡県道路交通渋滞対策推進協議会資料

■ 整備効果分析の事例（スマートIC開通効果の例）



出典：H28年度第1回静岡県道路交通渋滞対策推進協議会資料